京城日報
十七日夕刊

定價　紙代　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　郵税一ヶ月金十五錢　郵送に限り前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓　▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢▲三號活字同上▲四號活字十字詰壹行金壹圓貳拾錢▲六號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯　三四五番　營業　二三六番　振替貯金口座京城　三〇〇番

上院團體代表者會見に關し報告
十六日寺内首相官邸にて

寺内首相は十五日三黨首領と會見し外交方針の説明を爲したるが貴族院側に對しても同樣會談を爲すべく交渉し十六日午後二時より永田町官邸に於て各團體代表者と同時に會見したり當日内閣側よりは首相及び本野外相貴族院よりは三島彌太郎淺田德則有地品之允久保田讓男等の諸氏出席首相外相より交々對支外交の經過及び今後の態度に關し報告したるが今報告内容の一端を聞くに從來兎角形式に流れ易かりし日支親善主義を根本的に確立し黨同伐異紛擾常に絶えざりし隣邦に對し最も公平なる態度を以て機會均等主義を持し以て國民的外交を行はんとするにありとの事にして何人も異議なく一二質問應答ありしのみなりしと言ふ(東京特電)

紐育軍需工場大爆破

紐育附近の軍需品製造工場に兩夜に亘り大爆破あり露國注文の砲彈七百萬弗の損害あり(紐育電報)

黒海艦隊の活動

露國黒海艦隊は亞細亞土耳其アナトリア海岸を襲撃せり(紐育電報)

露國議會解散か

露都來電によれば露國議會の形勢は解散せらるべき模樣なりと傳へらる(紐育電報)

ハウス大佐再渡歐説

最近ウキルソン大統領代理として歐洲各交戰國を歴訪せるハウス大佐は再び渡歐すべしとの説あり(紐育電報)

交通借款利子

日本銀行團と支那交通銀行との間に締結せられたる二千五百萬圓借款假契約は利子七分五厘にして期限は三箇年なりと(東京電報)

地方官の更迭

青森縣知事小濱松次郎山口縣知事黒金泰義長崎縣知事李家隆介の三氏は近く辭職し之と同時に地方官の更迭行はるべしと(東京電報)

林市藏氏任官

前東拓理事林市藏氏に對し七日十左の辭令ありたり(東京特報)

任山口縣知事　林市藏

慰問發起人會

十七日聯合國慰問使派遣發起人會を開催したり(東京電報)

爲替制限撤廢

英國政府は印度に於ける爲替券制限を撤廢せり(東京電報)

郵船武裝著手

日本郵船會社にては歐洲航路就航船の武裝に著手せり(東京電報)

物價更に昂騰

諸物價の騰貴益々甚だしく更に二分六厘方の昂騰をなせり(東京電報)

井上少將行程

陸軍運輸本部長陸軍少將井上幾太郎氏は十八日午前入港の宮島丸にて來釜釜山運輸支部を視察し同夜十一時發北行列車にて元山に到り同地より汽船にて西湖津、新浦、城津、淸津の各地を巡視し歸途龍山に出で二泊し三十日午前八時四十二分龍山發南行列車にて同午後七時釜山著同夜八時三十分出帆の連絡船にて宇品に歸任の筈なり(釜山特電)

▲門司出發　井上陸軍運輸部本部長は十七日朝商船宮島丸にて門司發北鮮視察の途に上れり(門司特電)

荒井長官釜山通過

本期帝國議會に政府委員として上京の途に上れる總督府度支部長官荒井賢太郎氏は隨員不破事務官松島屬員と共に十六日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港の聯絡船高麗丸に搭乘東上せり(釜山特電)

清水谷侍從出發

清水谷侍從は臺灣震災地慰問の爲め十七日朝商船香港丸にて渡臺の途に就けり(門司特電)

蒙匪の南侵

▲旗王府を侵犯す　蒙匪巨頭搭布達は襲に東西烏珠穆沁を侵し之に占據して更に南犯せんとするの概を示しつゝありしが十二月十六日午前七時其一隊は烏旗よりして驀然科爾沁左翼前旗博羅特基圖地方に現はれ大に掠奪を肆にし先づ該旗王府を占領せんとしたるより旗兵擧つて之に抵抗するや乃ち火を縱ちて民家を燒き拂ひ同時に銃火を放ちて蒙民八十餘名を鏖し該旗王公は危險を冒し家眷を攜へて逃亡するの已む無きに至りしか蒙匪は直ちに王府に入り高塔帳棚等は軍旗を樹てたり其軍旗は上に三角形を畫き地質は黄緞にして緘縫せる金龍を現はし「大蒙古帝國興蒙滅漢都招討大元帥搭」と大書し又其小旗には前布先鋒安等の字樣あり

▲洮南に軍を進む　而して其軍容を見るに軍需車三十餘輛、砲二門、駱駝七十餘匹、牛八百餘頭、馬三百餘匹を算し殊に科旗内に於て盛んに牛羊馬を徴發し蒙民の壯丁に迫りて軍務に服せしめ之れを拒む者は誅戮して憚らざる結果匪軍に投ずる壯丁一日にして三百餘名に達すと斯くて科旗に駐すること數日洮南に向つて其歩武を進めたれば征蒙司令任國棟は急を黒龍江省督軍畢桂芳に電報し

▲征討電令を發す　畢督軍は第一師師長許蘭洲と協商し之れが勦防策を講じ連名にて左の電令を任司令官に送れり

科爾沁旗は江奉交界の間にあり察倫山と犬牙相錯はる軍隊は宜しく要隘を堅守し冒進する勿れ奉吉兩軍が匪軍の後路より勦討するの時を俟ち我軍は再び其前鋒を截擊し該匪をして其首尾を顧みるに遑無からしめば即ち一鼓して蕩平するに難からず現在我軍の兵力は薄弱にして分派する能はず又蒙匪の出沒は常無し若し輕々しく進攻せば恐らくは此を顧み彼を失するの虞あらん務めて匪隊中他國の旅賊及人民を發見せる時は業に政府を經て彼の國に向つて聲明せる案あれば吾軍は即ち認めて匪と爲し一律に勦打を施加し以て他國人の匪隊を率からしむべし萬以て國際交渉を釀さんことを恐るゝ勿れ稍々退避せば無窮の禍患を貽さん云々

蒙匪が科爾沁旗に於て樹てたる旗幟中に日章旗ありたりとて斯る不穩の訓電を發せしは不埒なるも所謂征蒙官軍の軟弱なる態度は之を見ても知らるべし

▲任司令官の急電　黒龍江省公署は十二月十六日夜討蒙司令任國棟より又復た左の急電に接せり

蒙匪科爾沁旗に入りて形勢大に熾なり本職は軍中より偵察の智識に富める士官二名を選拔し牧夫の扮裝を爲さしめ間諜的偵察を試みしめたる所其報告に據れば蒙匪は科旗に至れる時兵力僅かに千二百餘名なりしか其晩には既に二千餘名に上り他國人二百餘名も參加し高く旗幟を張れり距離甚だ遠きにより明晰ならざるも附近の蒙民に依りて探査するに匪首は名を安図布といひ部下に腹心の健將二名あり一名は狼穆と呼び一名は富色托額と名く非常に勇悍にして射擊を善くす前に瞬殺帶に在りて悍匪巴彦公弌伯蘇等と共に行動したるが現に搭匪の隊中に加入し共勇悍なるにより任ぜられて統領となり安匪の部下に隷し共南犯を助けつゝありと該匪は現に輿裝を整備し一兩日中に洮南方面に進攻せんとしつゝあれば速に各隊を進駐せしめんことを請ふ軍機を誤らば巨禍を貽すべし

▲任隘路を扼守す　督軍畢桂芳氏は此急電に接するや又もや許師長と協議せしに許氏は兵力薄弱を理由として堅守説を唱へたりしが故に任司令官は今や重要なる隘路に其軍を配置して守勢を取り鬱河及び奉天軍が匪軍の背面を包圍するを待つ事とし畢督軍は應援の爲め歩二旅に合し歩兵一營を急派せしめたり(奉天)

□御賞詞を賜はる

愛國婦人會平壤支部にては一昨秋御大禮御擧行ありし際特に鮮人婦人に紬二疋を織製せしめ總督府を經て畏き邊りに獻上せるに今回宮内省より御滿足に思召さるとの御賞詞傳達者に接せり

總督邸晩餐會

長谷川總督は十七日午後六時三十分道長官會議の爲め入京せる各道長官を官邸に招待晩餐會の催しあり總督府側よりは山縣政務總監以下各部長、官房局長、所屬官署の長等列席しまた軍よりは秋山司令官以下參謀長經理、軍醫兩部長等出席總員四十名なり

道長官會議(最終日)

臨時道長官會議最終日たる第三日は十七日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、各道長官は勿論長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官局長、所屬官署の長並に關係各課長等參列直ちに日程に入り道長官の管内狀況報告を了へたる後總督の指示ありて午前十一時十分散會之れにて道長官會議を終了したり

警務部長會議

憲兵隊長警務部長會議は二十二日より二十四日まで三日間總督府第二會議室に於て開催の筈なるが其の日程左の通り決定せり

二十二日午前總督訓示、午後管内狀況報告▲二十三日午前同上▲二十四日午前司令官總長訓示及指示、午後司令部會議室にて事務打合

而して會議時間は毎日午前九時三十分より正午迄、午後一時より午後三時三十分迄とし職場は司令官警務總長之を整理す尚ほ會議には司令部附佐官副官、警務官並に司令部總監部各課長及び係員たる高等官等參列す可し

水産主任會同期

總督府にては鮮内十二道水産主任技術員を召集し二月十九日より二十五日まで六日間水産主任技術員會同を開催の事となれり日程は未定なるも會議は第二會議室にて農商工部長官之れを統裁の筈なり

白仁長官通過

白仁關東都督府民政長官は政府委員として議會出席の爲め十七日午前八時南大門驛著同八時三十分發列車にて南下東上せり

石塚總裁東上

東拓總裁石塚英藏氏は堀江淸水兩參事を隨へ十七日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上す

鮮銀總會議案

朝鮮銀行にては既報の如く來る二月十五日東京銀行集會所に於て定時株主總會を開く事に決定し居れるが附議の案件は(一)大正五年下半期決算の件(二)理事一名補缺に付百株以上の株主中より倍數の候補者選擧の件(三)前總裁勝田主計氏並に前理事水越理庸氏に慰勞金贈呈の件なりと

交換高新記錄

舊臘十二月に於ける京城手形交換所の手形交換高は市況活況を呈せし丈け頗る多額に上り其枚數四萬九千二百六十二枚金額一千零九十四萬三千九百九十一圓一錢にて之れを前年に比すれば金額に於て四百萬圓を増加し前月に比し二百萬圓を増加し居れり尚ほ一月以降の累計は枚數二十一萬二千九百二十三枚金額四千五百六十七萬二千六百七十一圓にて乃ち十二月の交換高は一年中の二割強に及びし譯なり

總裁旅程變更

撫順及び哈爾賓視察　滿洲視察の途にある美濃部鮮銀總裁一行は十五日奉天日支官民に對する披露宴を催し十七日朝奉天發大連直行の豫定なりしを旅順に向ふ事に變更十八日旅順滯在、官民招宴二十日大連出發新に撫順に向ふ事となり二十一日朝撫順著撫順炭坑視察同日午後撫順發長春に向ひ更に哈爾賓に北上二十二日夜同地著二十三日哈爾賓滯在二十四日正午哈爾賓發奉天直行の事に變更したれば其の歸京は早くも二十六日朝なるべく或は二十七日とならん

日郵の重要問題

原田取締役急遽東上

朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は十七日午前八時三十分南大門發列車にて東上の途に就き川田文書課長は釜山まで吉田專務は途中迄見送りしが其の用向は日本郵船會社取締役として東上突如十六日日郵よりの飛電氏の東上を促せしものにて氏も亦其の東上問題の内容を知らずと稱し居るも日郵が態々多忙の朝郵社長に在る氏の東上を促せしは其の間に重要問題の存在を否むべからず或筋にては多年の問題たる近藤社長の勇退に關するものか若くば日郵の增資か但しは印度洋に獨潜航艇出沒の爲め日本郵船は其の歐羅巴航路に何等かの改變を加へんとするに非ずやとも觀測しつゝあり尚ほ原田氏の歸期は未定なり

京城商議總會

京城商業會議所にては十六日開會の役員會に於て大正六年度歳入出豫算案を議したるに歳入出總額一萬五千七百八十四圓七十七錢に對して二三の意見出でたるが來る二十日午前十一時より總會を開きて附議することゝなれり前記の來年度豫算を本年度の一萬五千七百五十三圓九十七錢に比する時は僅々三十圓餘の增加を見たるに過ぎざるも元來本年度豫算は會議所としては豫算運用の試驗時代に屬し居りたるため一箇年間を通じて經驗の結果來年度豫算の編成に付ては多少款項目中に變更を加ふ可き必要を生じたるため總額に於ては大差なきも内容には增減を加へたるもの多し

撫順炭の値上

撫順大山坑の爆發並に輸送力の不足に基因し朝鮮の一般需要に對する撫順炭の供給は玆數日來殆んど絶えたるとし又近き將來に於ても多量の供給は諸種の關係上困難なるを以て滿鐵鑛業課京城出張所にては塊炭並に切込炭共一噸に付一圓の値上げを發表せり

大倉喜七郎氏動靜

去る十三日京城出發黄海道秀佳鑛山視察に向ひたる大倉喜七郎氏一行は十六日夜入京朝鮮ホテルに投宿せり同氏は十八日朝出發滿洲本溪湖に向ふ豫定なりと

道長官招待宴

十八日午後六時明月館に於て貴族及び朝鮮側主なる實業家等の發起に依り目下入京中の各道長官を招待し晩餐會を催す可しと

小宮氏送別宴計畫

今回李王職次官を辭したる小宮三保松氏のため官民聯合の送別會を開會せんとの議あり目下協議中なりと

植村氏外科長

總督府醫院醫官植村俊二氏は外科長を命ぜられたり

入澤第一部長巡視

京畿道入澤第一部長は前日に引續き十七日も亦午前中於義洞茶洞鍾路其他の學校を巡視したり

境警視の歸京

京畿道警務部警視境喜明氏は豫て病氣靜養の爲め家族同伴鄕里長崎縣に轉地治療中の處病氣稍平癒したるにより家族と共に十六日夜歸京したり

質商組合總會

京城の質商組合員八十人は二十日午後三時より花月に於て總會を開き本年度の決算來年度豫算並に役員(正副組長)の選擧を行ひ終つて宴を開き警務部長府尹新聞通信記者等十數名を招待すと

釘本氏の招待會

當地の實業家にして商業會議所評議員なる釘本藤次郎氏は毎年の恒例により來る二十二日午後六時より花月に於て宴會を開き平素親交ある官民の知己百餘名を招待すべしと

庵原技師母堂危篤

總督府水産技師庵原文一氏は實母病氣危篤の報に接し十六日夜南大門驛發汽車にて鄕里島根縣に急行せり

仁川

▲税關長催宴　櫻井仁川税關長は二十日午後五時半より瓢樓に仁川重立者十數名を招待懇親宴會を催す可し▲濤誠會初會　仁川濤誠會にては來る二十一日午後一時より仁川倶樂部に初會を催ほす由にて其番組左の如し▲囃子鶴龜田村羽衣百刈屋▲仕舞高砂葛城山姥▲囃子東北櫻川▲素謡吉野庭杜若

▲上半輸移出米高　仁川穀物檢査所の手を經たる一月上半中に於ける米の輸移出高は玄米一萬五千三百八十四叺中白米六十叺にして仕向先は大阪一萬四千三百八十五叺東京一叺神戶八百九十八叺なり▲輸移出米檢查成績　仁川米穀檢查に於ける本月上半中の輸移出米檢查成績を聞くに玄米は總數一萬五千二百九十五叺中合格一萬五千二百八十四叺不合格十一叺中白米は總數六十叺中不合格無く一體に成績良好なりしと▲精米所の男女工數　仁川に於ける精米所の男女工數は最近の調査に依れば內地人男十九名女百六名鮮人男五十五名女八百三名合計九百六十八名なりと

釜山

▲商業校同窓會　釜山公立商業專修學校同窓會は二十日商工倶樂部に於て新年宴會を開催の筈▲商業新入學生　釜山公立商業專修學校に於て募集さるべき新入學生は百十名の豫定なる由▲商女新募集　釜山公立高等女學校に於ける本年の新規募集生は約百名を入學せしむる豫定なりと▲出穀一萬叺　大阪商船會社汽船福州丸は十五日午前釜山に入港し東京行米穀一萬叺を積載し東京へ直航せり

平壤

▲平南五年度獸疫　平安南道に於ける大正五年度獸疫發生總數は八十九にして內斃死亦撲殺したるもの八十三なり今之れを病別に分類すれば炭疽六十三斃死六十二氣腫疽四斃死三鼻疽及び皮疽十一斃死三撲殺三流行性鵞口瘡六斃死二なりと▲五年度桑苗植付數　大正五年度平安南道に於ける桑苗植付數は無償配布接木二五六〇〇〇本實生一三六六九六共同購入接木四一〇三九七實生一〇三四二四〇其他公立學校木六八三〇九七本實生二八五八八五一本なり而して四年度植付數量に比較する時は實に二六割の增加にして六年度は五年度の約五割強の植付けを見るべしと▲記者團新年宴會　平壤記者團は十六日大同館に於て新年宴會を催したり▲自動車商會株主總會　平壤自動車商會に於ては來る十八日櫻町料亭寄に於て第五回定期株主總會を開く由なり▲面農會技手講習會　平安南道平壤公立農學校に於ては一月二十四日より向三箇月間生徒授業時間の餘暇を利用して面農會技手講習會を開催する由なり▲經理員講習會　平南憲兵隊に於ては管內各分隊より一名宛都合十名を召集して十六日より向一週間の豫定にて會計經理の講習を開始したるか講師は同隊主計花水淡氏なりと

安東縣より

滿鮮運送株式會社にては十四日午後一時より第十九期定時株主總會を安東貯金銀行に於て開催專務取締役增田光平氏の大正五年度下半期に於ける營業成績決算報告等あり滿場一致之を承認し次て監查役藤平泰一氏の監查報告あり是亦承認次に利益分配案を原案通り可決し臨時總會に移りて取締役一名增員選擧の處小濱爲五郎氏當選監查役任期滿了改選の結果藤平泰一氏再選重任に決せるが同社當期間の營業成績は頗る良好にて株主配當は年一割二分の割合なり▲安東銀行定時會　安東銀行第十二期定時株主總會は十四日午後二時より安東公會堂に於て開催出席株數本人二十七名委任狀百十四通計百四十一名七千九百六十二株にて專務取締役渡邊喜八郎氏より大正五年下半期に於ける營業決算其他諸般の報告あり滿場一致之を承認し次に藤田監查役の報告ありて是亦承認次に利益處分案を左記原案通り可決し畢つて臨時總會に移り奉天支店設置の件を可決し最後に役員改選を行ひ同三時半散會せり

▲利益處分

一萬四千三百卅一圓〇六錢　當期純益金

▲配當

一千圓	法定準備金
四千圓	別途積立金
五百圓	營業用土地建物什器價格消却金
六千二百五十圓	株主配當金年一割
一千圓	役員賞與及交際費
一千五百八十一圓〇六錢	後期繰越金

釜山檢米成績

釜山米穀檢查所に於ける本月十五日迄の上半月に檢查したる米穀の數量は九千百七十三叺にして例月の同期に比し少數なりしは嚴寒の候なりしと風波の爲め運送の困難なりしに加へ相場の下向と新年休業等の理由にして天候回復せば漸次廻米を增加すべき見込なるが品質は當期は移出の特等米多く不合格及び劣等品は漸次減少し最も順調に赴きつゝありと(釜山)

人事消息

▲小木虎次郎氏(工學博士)　十六日夜入京朝鮮ホテルへ
▲大倉喜七郎氏　十八日朝發滿洲に向ふ筈
▲藤井甚三氏(大倉組技師)　十七日朝發滿洲へ
▲村井寛氏(關東都督府取引所長)　十七日朝入京浦尾へ
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)　十七日夜入京浦尾に投宿の豫定
▲波多野省吾氏▲佐納登三郎氏(以上大阪商船社員)　十七日朝退京
▲原田朝郵社長　十七日朝發東上
▲吉村鐵道局副參事　十六日朝釜山發歸任
▲武尾朝殖氏(大邱辯護士)　同上
▲並川七郎氏(海軍大尉)　同上長春へ

ジユウエー大將危篤

華盛頓來電＝海軍大將ジユウエー氏は目下昏睡狀態に陥りたり醫師の言に依れば三十六時間以上は生命覺束なかるべしと(紐育電報)

(備考)ジョージ、ジユウエー氏は千八百三十七年十二月二十六日ヴアモント州モントペリアに生れ二十四歳にして初めて海軍に入る功少なからず特に米西戰爭の際馬尼拉灣の海戰に於て西班牙艦隊を擊破して名聲頓に揚り米國議會は直ちに彼を少將に陞任せしめ翌年更に大將に進級せしめたり千九百年以來總務局長たり

●新兵舍と新市街と

兵營が建築される龍山練兵場
四月から愈々盛んに工事が始まる

新設朝鮮二個師團の完成に伴ひ各地に兵營が新築される事に成つて居る龍山でも步兵第七十九聯隊兵營及將校官舍を此の四月から工事に着手して新築する事に成つて居る敷地は今の練兵場を以て之れに宛て

▼聯隊敷地として の殘餘の分即ち漢江通りに添うて幅六十間通りを軍司令部から總督府へ返還する事に成つて近かく其の受授が行はれる筈である聞く處に依れば總督府にては此の練兵場返還地を市街宅地として民間に貸下げる事に成つて居るとの事であるから岡崎町漢江通りと新築兵營との間に相當の市街が出來る譯である陸軍の方では聯隊の前を道路として漢江通りと三阪通との間の連絡道路を開通せしめる筈である。新貸下地は

▼兵器支廠の北側 塀より岡崎町に至る間であつて兵營の側面の塀に沿ひて小溝を穿ち大溝に添て道路を開通し兵營に面したる新貸下地の市街は此の道路に添うて作られる筈である兵營は中央より稍北方に南向に建設せられ市街に添うたる向きには倉庫、雨天體操場等を建設し成るべく兵舍と市街家屋と相隣接せざる事を圖る筈である、現今の練兵場に

▼七十九聯隊兵營 新築の後は元の師團長官舍の前の廣場を以て練兵場に宛て漢江對岸の廣場は演習地に宛てる筈である猶明年より引續き騎兵砲兵等の兵營を新築する筈であるが對岸には廣場が多いが龍山は何分にも狹隘を感じて萬事不都合である、七十九聯隊に添うたる新貸下地に建設される市街に對しては陸軍の方には何等の注文も希望もない

▼たゞ兵營附近で あるから兵士を誘惑するが如き種類の飮食店料理店等は警務部に頼んで相當取締つて貰ふ考へである市街地に添うた兵營は陸軍當局者の理想から言へば餘り感服しないが土地の都合上止むを得ざる次第である(藤瀨軍經理部長の談)

◆少しく寒くならう

仁川觀測所員の談に依れば滿洲及び山東省方面に於ける數箇の低氣壓は十七日朝に至り一團となつて西に進み來りたる爲め朝鮮は概して曇天なりしも此の狀態は十八日に至れば恢復して低氣壓は日本海方面に徐々として進行すべし而して十七日朝午前六時迄は國境方面に降雪を見たるも京仁地方には降雪無く午前七時頃降り出で西海岸一帶に亙りたる者の如し氣溫は十八日に至り西北の風吹かば多少下降すべけれ共さしたる事なかる可く觀測さる(仁川)

兵營を建設さる可き龍山練兵場

●豆滿江岸 暴風雪

交通全く杜絕

國境地方は客臘二十五日の大吹雪以來寒氣酷烈を極め氣溫零下二十七八度より三十度內外を示し居れるが之に加ふるに日々北風強く豆滿江沿岸は雪雜りの砂塵萬丈濛々として

▲咫尺を辨ぜず 爲に交通全く杜絕の狀態にあり殊に本月四日より六日に引續ける暴風にて家屋の倒壞又は屋根牆塀の破壞されたるもの多く損害多大なるものゝ如し豆滿江の結氷も本年は一層厚く堅氷二尺に達し到る處牛馬車の交通自由なるに至れり又た豆滿江の結氷と共に對岸との交通自由自在なるより例年の如く對岸より何時支那人朝鮮人等の賊徒朝鮮內に襲來し掠奪兇暴を逞ふせんやも計り難きを以て沿岸憲兵隊にては

▲之が警戒取締 の爲め憲兵及び憲兵補助員をして夜間江岸を巡回せしめて之を警戒し尙ほ各洞每に自警團を組織せしめ以て夜警に任じ急變ある場合憲兵隊守備隊に報知するの任務を盡さしめ居れりと(淸津)

●來襲の兇蕃を 機關銃で

擊ち拂ふ計畫 雪中の大活動

南投廳下集集支廳管內國大駐在所員は去八日午前十時頃所用の途次多數の兇蕃に邀擊せられ巡查隘勇各二名負傷し外隘勇二名は行方不明となれるが右二名は全く馘首せられたるものゝ如く外に負傷せる山崎巡查は一昨十日遂に落命せりとの事なるも其後尙連絡を取る事能はず詳細も全然不通なるが爲め實況を確め難く唯蕃人より得たる狀況及び駐在所が同所に隣接して住居せる蕃人に託しカネトアン駐在所に齎らしめたる報告書を綜合すれば稍々事端を捉へ得るものゝ如し

▼機を俟つ 蕃社廳下ブルブル社及び花蓮港廳下イボック外一社の蕃人數十名は國大駐在所を襲はんと爲せしも此の程竣工せる防禦工事堅牢なるを以て姑く機を窺ひ同所員の水汲みに出て來るを見るや之を邀擊し所員の引上ると共に直ちに大擧駐在所を包圍せしも同所員は直ちに臼砲及び小銃を以て死力を盡し之と應戰せるより容易に之を陷し入るゝ能はざるを知り電話線を切斷し且つ應援員の來援するを防止せんが爲め同所下方の丹大溪に架せる鐵線橋を拖し所々に掩堡を築き再び機を窺ひ居るものゝ如し

▼兇蕃の數 兇蕃の數は或は三四百と云ひ約二百名と言ひ判然せざるも上記三社蕃人の外ボ大蕃社蕃等ある模樣なれば百名內外は同駐在所に在るならん集集支廳長は巡查十名を率ゐ六日朝同地を出發しカネトアン駐在所に向ひしも前方の狀況全く不明なる爲め前進出する事能はず甚しき困難の狀態にあり依つて警察本署に於ては此の降雪の時季に託し出草せる前記花蓮港方面の兇蕃を驅逐し進退に窮せしめ充分膺懲の實を擧ぐべく桃園、新竹、臺中の各廳に對し命令を發し警部以下多數の警察官を集合に集合し搜索隊を編制の上行動を開始するの計畫を樹て其れ〳〵嚴然たる手配りを了せり

▼應援諸隊 各廳の應援隊は十二日中に集集に集合の豫定にて尙其他數警察官若干名を以て機關銃隊を編制し警察本署の山脇警部は之を指揮する筈にて之れ亦應援隊の一行に參加の豫定なるが右搜索隊の指揮は全子同廳警務課長任に當るべく富島同廳長集集に在つて善後策を盡し居れり尙國大駐在所は集集より約十八里の深奧蕃地にして同方面道途の困難なる事言語に絕し中央山脈と接し花蓮港廳下に近き地點なりと(臺北通信)

●石炭攻めの京城

保證金を棒に振つて尻を割つた
湯屋や市內の各工場では大弱り

寒い〳〵寒空に石炭の値がグン〳〵騰る、昨今の撫順炭は塊炭で一噸十三圓七十錢、切込炭で十二圓七十錢これを昨秋の九圓八十錢臺に比較すると約一噸に就き四圓ほどの暴騰を來した、然のみならず去る十一日の

◆大山坑爆發以來 は朝鮮に來る撫順炭は目下供給杜絕の有樣にある、それに龍山貯炭場に於ける塊炭も昨今では總て出盡して了ひ、殘るは切込炭の少々のみとなつて石炭屋さんは注文のお斷りに目を廻しつゝある、されば內地炭によつて補供する途は無きかといふにこれは內地に於て既に山元から

◆契約して持行く といふ拂底で若松の塊炭で京城の相場が一噸十八圓の素晴らしい値段現に總督府に納入しつゝあつた某店の如きは千三百噸の契約炭に尻を破つて千餘圓の保證金を棒にふつて解約した有樣初めの入札價格は噸九圓八錢であつたが値段よりも何よりも現物の拂底なのが原因らしい、それに市內の湯屋も炭價の暴騰に苦しみ

◆各種の大工場の 如きも貯炭の無い向きは追々困り出した、殊に龍山印刷局、瓦斯會社、東亞煙草、南山商會の如きは今の向きでは困るといふ、然るに一般の石炭屋の方では百噸の申込に對し十噸で斷り一噸の申込には一俵で御免を蒙る始末、平素の御愛顧に酬ひる爲め是非共少々宛にても御間に合せますとは請合つてゐるが何分

◆大口契約先きの 朝鮮鐵道局、瓦斯會社、各地方の金坑などでは炭が無ければ休業を餘儀なくせられるのでなか〳〵嚴談を持込むである、これに就き石炭商の談に曰く『撫順炭は昨秋以來大連經由の南洋契約炭にとられて例年の約半分も廻りませんでした、それに滿鐵は蒙古風の爲めに貨車の油まで凍らせて了ひ

◆その爲め機關車 の車輪からは火を出すといふ有樣で寒氣の爲めに輸送力も減じたのであります、大山坑は目下密閉中で採掘が出來ませんけれどもこれは一日一千二三百噸の採掘量で他の東鄕坑あたりに比較すればあまり大した影響はありませんが、何分輸送力の貧しいのに困ります、貨車は一車に二十五噸をつみますが昨今では各工場を除けた

◆京龍一日の消費 二百噸も間に合ひ兼ねるので申譯に窮してゐる次第、復舊には今月一杯はかゝりませうが併し值段ことがあつても不都合の無きやう石炭はお間に合せようと努力してゐます……』猶は一噸の塊炭はピッチ入一噸十一圓七十錢、粘土入り九圓七十錢この方で間に合してゐる向きも少くない

●博多丸

又亦襲擊せらる

日本郵船會社歐洲航路汽船博多丸はケープタウンにて獨逸潛航艇の爲め襲擊されたるも船員は無事なり因みに船體に付ては何等の情報なし(東京電報)

●電車廿臺燒く

十七日午前四時二十分京阪電鐵深草車庫燒失し電車二十餘臺を燒失せり爲めに一時京阪間の電車運轉杜絕せり損害莫大なり(大阪特電)

●西湖津の結氷

▲貨物の荷揚げ不可能 咸南西湖津地方にては客臘二十五日以來の大吹雪にて寒氣殊に嚴しく西湖津港は出入船舶の飛降客は元より一般貨物の取扱ひ不可能となり七日より港內氷結し十日朝には小陳島より半月形東方燈臺下の立岩に至る一帶厚さ約二寸の結氷となり棧橋附近其他海岸に繫留中の艀舟、傳馬、漁船を初め警備船迄出動不可能となりたり九日朝入港の朝郵汽船全羅丸、吉海丸の如きは郵便物のみは辛くも警備船にて陸揚げしたるが乘客三十三名は幸に機械船を以て小陳島に上陸せしめたるも大形荷物は一切陸揚せず其儘出帆したり尙同丸より一層厚氷となり午後十時半入港の穩城丸は荷客共其儘にて急遽出航したりと因みに本月十一日よりは稍々船舶の自由なる行動をなし得る樣なりたり

●貨車脫線

十七日前十一時半 大田驛構內に於て

京城發午前十一時三十分の大田行混合列車が大田驛構內へ徐行し來れる際第一號ポイントの附近にて突然列車中部に連結せる貨物車五輛脫線せしも幸に貨物及び乘客共に異常なかりき脫線の因は脫線せる滿鐵貨物車の車軸に三寸餘の古疵が折れたる爲めなり同列車は午後五時迄には復舊運轉すべき見込なり(大田電話)

●下關驛前仲仕詰所の出火

下關驛前仲仕詰所より十七日午前五時出火十六戶を燒失して同八時鎭火せり(門司特電)

●禪敎兩宗委員長

朝鮮禪敎兩宗約三十の本山聯合事務長は是迄水原龍珠寺住持姜大蓮師なりしが任期滿了し今回其の後任として慶南梁山郡通度寺住持金九河師當選したりと

●電車の故障

十六日午後八時十五分頃京城電氣會社の東大門行六十二號電車が龍山より古市町電車停留場附近を進行中車軸折れて停車するに至りしも應急修理の上午後十時三十五分運轉せり

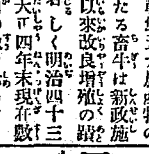
●山邊夫人の葬儀

山邊勇輔氏夫人敏子の葬儀は十六日午後五時永樂町西本願寺にて行はれたるが司法部裁判所及び佐賀縣人を主として多數の婦人其他官民の會葬者四百餘名に上り頗る盛儀なりき

▲愛國婦人會の弔詞 愛國婦人會朝鮮本部長は協贊員山邊敏子夫人の逝去に際し靈前に弔詞を呈せり

●「悲慘なる一家」へ

本紙十四日夕刊三面所載「悲慘なる一家」へ對し京城仁寺洞藤原信吉氏より金三圓、京城婦人會より金五圓を本社を通じて寄贈ありたり



▲朝鮮五大農產物の一たる畜牛は新政施行以來改良增殖の跡著しく明治四十三年末現計の頭數を大正四年末現在數に較べると殆ど倍加の數を示してゐる◆處で大正四年末の數は幾何かといふと牝四十萬七千九百十一頭、牡九十四萬五千六百二十頭で之れを合はすと一百三十五萬三千五百三十一頭となり上から讀むでも下から讀むでも同數だとは面白い

●本願寺の大法要

本派本願寺にては四月一日より……

……僧侶一般を招きて披露せり德如上人一……を以て……川荒神口の勸王橋を一建……

小泉清太郎、極步與、孫賢廷、……佐藤行久、同まつ、山田榮次郎、小川健吉……

……國一郞、阪江興……の、戶井千二、同たか、同ちゑ 同まき、前田源市、同德四郎、宮崎又四郎、澤田實、同ふじ江、山口安太郎、野口檜吉 (三等百五十名)

課題

讀者文藝課題及び募集規定

募集規程

▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚に紙上の雅號又は……

天 曇り時々雪 (十七日午後六時發)

朝鮮總督府 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話 定價金八拾錢 郵稅六錢

受驗者必携の資料 ◎袖珍總クロース四百頁頗美本 江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尙要求盛なるに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解說者たり是非一本を備へられよ

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

實用英語夜學會 一月十六日より每週月、火、木、金午後七時半開始
▲會員募集
▲會場 旭町二丁目日本メソヂスト敎會內
▲事務所 旭町二丁目三十六番地電話二五六五番

鐵工業
陸用汽罐汽機製造並に修理
船用汽罐汽機製造並に修理
精米用諸機械製造並に修理
鑛山用諸機械製造並に修理
建築用金具其他一般鐵工業
造船業
汽船新造並に修理
帆船新造並に修理
引揚船渠の設備あり
鎭南浦府億兩機里二番地
株式會社 中村組鐵工部 電話一六一番

新築移轉 明治町二丁目
產科婦人科專門 中央婦人病院 (手術室病室各等完備) 院長 衣笠 電話二三四〇番

天下の銘釀 第三回值段改正廣告
大正六年一月十日より 樽詰は第三回 壜詰は第二回目の
市況活躍は品の上下に不拘一般賣行增大愈品物拂底を來し酒價併に附屬品日々昇騰の結果無止
值揚げ實行仕候宜敷御諒承不相變御愛顧御用命被仰付度此段廣告致候也
釀造元 兵庫縣御影町 嘉納合名會社 電話三七番
特約店 京城本町 前田酒店 同本町 田中支店 仁川本町 增本酒店 同本町 田中酒店

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一三	四、三七	七、二八

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町壹丁目 電話五八、三四番 振替貯金京城一一九番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

浪花の春芝居
雁次郎の宗行卿

◆何と云つても浪花座は大阪一の芝居である、雁次郎梅玉を中心に延若が中幕を背負つて加はり堂々たる大歌舞伎を見せて居る、一番目「宗行卿」は暴戾な北條義時に摑んで道明寺の菅公の如き場や曾我めいた場が折重つて別離の悲劇を頻りと見せる史劇である

◆こんな脚本は以後松竹の土藏深く仕舞つて置くべきである、雁次郎の宗行卿はいつもと違つて頗る地味に精々動きを避けて腹で見せやうとして居る甚だ澁い演り方である後向きになつて熱と悲哀の狀を見せる處など一層痛切に藝の深味を感じさせる我子隆行と今際の別れに臨んで一言も發せず懷手のまゝ緣を歩きつゝ折々眼をしばたゝくなどは雁次郎として新しい演出法で地味であるが哀れが深い

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽物は付「無くてもよいものは」

○乘堪和甸に五萬圓(一等) 海州 善狂生
▲兎に角チラリ 沙里院 みのる
▲日本軍に降參旗 沙里院 湖月生
▲伊達眼鏡 龍岩浦 露子
▲首目に提燈 京城 原 梅山
▲夏にストーブ冬に扇風機 京城 白菊
▲下手な外交員 京城 熊谷 恒外

◆延若の義時は薄べらな惡人として取扱はれ强い表現を見するばかりで何の內容もない、延若は史劇などに理解のある人でないのかも知れぬ、それよりワキ役の離狂の深見三郎兵衛が頗る活躍し深さも表現も申分ない出來を見せてゐた

◆中幕の東京土產「大杯酒戰の强者」は延若の馬場三郎兵衛が主眼である事は云ふ迄もなく流石器用な優だけに精氣潑溂として油斷のない隙を見せぬ藝振りは武勇の性格をよく表現してゐたが之は故左團次の當り狂言で同優の三郎兵衛には今少し圓味と裕とりがあつたと思ふ

◆延若は强い一方で氣の詰るやうな發が少くない、雁助の井伊掃部頭は感傷的な優の藝ではない魁車の內藤紀伊守も甚だ氣の利かないものである、要するに之は延若のお土產で頗るアクの强いものである

◆二番目「あかね染」は書卸しである、千日の火屋サイタラ畑の曉に哀れな妾を二つ並べた幸若の女役者三勝と大和五條の赤根屋半七の事をなるべく史實に近く新しい積りで書いたものである、關西劇團一月興行中では一等面白い脚本である、染屋の半七は兄だが妾腹で本妻腹の弟忠六が商賣の失敗から兄の實印で金を借りるそれを引受ける積りで半七は暮の大阪へ出て奔走するけれども金の工面ができず馴染の三勝に會つて途に心中すると云ふ筋である、

◆矢張史實にない貞女お園も出る、半七も三勝も何處迄も理詰めて押通して心中させるやうにしてある、冷たい人物の集合で、心中物らしい情ある氣分や感傷的な情緒に乏しいのは甚だ憾られ、由來上方作者は兎角心中物を理詰めにして書きたがつてあるのが現代人と甚だ共鳴せぬ要點である

◆序幕の舞臺に入口を奧に見せ門口越しに吹雪を見せするなどは新作ものらしくてよかつた、雁次郎の半七は脚本通り頗る思慮深く沈着に小利巧な男になつてゐる、義理で死ぬ外に三勝に對する燃ゆるやうな情緒がなくてはならぬのだが、それが一向現れてゐない、で序幕で堅くるしい思慮深い半七が二幕目三勝の內での濡れ場模樣となる處も何だか擽られる不安な心でそれを送り出す女房が決心し暮の吹雪の中を調金に出かけ興味を裏切る、弟の罪を引受けんとやうで矛盾から起る反感が强く心中の情はしんみりと見られた

◆殊に大詰千日道行の場花道の出に兎角女に遲れ勝の半七がさまぐの感傷に痛められ虐げられた狀の人心地もなくよろくと步いて行く姿など遣が悟うしたものには天下一品の雁次郎の値うちを見せてゐた、云ひ知れぬ悲哀と引締められるやうな劇的興味は忘られぬものである

◆延若の弟忠六は割合に性格が鮮明に現れてゐた、雁助の三勝は美しく艷に可い出來であつた、魁車のお園も通り役なり梅王の與惣右衛門も好し、新春劈頭の芝居として道頓堀での白眉はこの「あかね染」である

◆切の「歌仙の彩り」は淸元で長三郎と右團次が踊り拔くその他はお交際と云つた形延若の業平の如きは甚だ迷惑氣に見れた(大阪にて有閑生)

割烹教授

旭町二丁目殿待料理人吉原消次郎は米國割烹の大家マッキー氏に師事する事數年斯道の組奧を究めし由にて今回前記の料理店にて割烹に從事の餘暇汎く希望者の需に應じマッキユースタイルの割烹法を教授すと

懸賞字探 當選發表

一月一日の紙上で皆さんのお正月のおなぐさみとして懸賞字探しを募集しましたところ每日係員の机上は答案の葉書が山を爲す位でありましたあの繪の中には

「こはやまのゆき」

の七字が隱してありました正解者四千八百六十三名の內嚴重な抽籤の結果左の十九名の方が當選せられました當選者には追て御愛嬌までにそれぐ賞品を差上げます

□一等賞(一人)上等手提鞄一個
京城吉野町一丁目百二十四番地 淸水ふみ子

□二等賞(三人)羽縮紙一個宛
鎭南浦旭町 石川繁雄
龍山郵便局官舍 平松すゑ
仁川花町三丁目二番地 梁戴鎬

□三等賞(五人)上等石鹸一個宛
忠淸南道大田兵器前 中村六一郎
慶南山淸郡月面玉洞 李 東
仁川寺町一丁目 生沼勇郎
京畿道水原郡安養 佐藤善夫
京城旭町一丁目三七番地 河內安子

□四等賞(十八)手袋一個宛
咸鏡南道咸興郡 藤山卯一
西湖津 榎本義隆
京城 坪井秀夫
黃海道 高鳳京
慶北 河瀨知之
全州 横地貞男
三浪津 小島豊長
平安南道 我妻嘉代子
龍山 山中ひろ子
京城 渡邊與一

外國人を驚かしたる
△ペン裝置器の一大發明 △日、英、米三國の特許となる

發明思想の發達に伴ひ巧妙なる發明品の現はるゝは枚擧に遑あらずと雖も未だ世界の人目を驚かせし如き大發明を遂げたる者は稀なるに今回圖らずも邦人が此大發明を遂げ直に日英米三國の專賣特許となりて歐米各國人に歡迎せられ全力を擧げて製造するも尙且供給に不足を告ぐるの盛況なりと云ふ本發明品の內外人が常缺く可からざるペンに裝置する器具にして其名稱は京屋ペン裝置と稱し普通のペンに本裝置を施しインキに滲せば直に萬年筆の代用となり運筆の工合に些かの變化を與へず而も一度滲ませたるインキにてハガキ二十枚を認め得らるべし而して從來のペンの如く紙上にインキを漏らす憂ひ更になく如何なる細字も意の如く認め得らるゝを以て其使從は高價なる商業的萬年筆を凌駕する事數倍なれば學生、會社員、官吏其他如何なる階級の人にも缺く可からざる便利經濟の實用品なり而して其價格は最良ペン先及ペン軸附二本一組僅に卅錢裝置器のみなれば一個金拾錢郵券錢なり本器は今回(京城明治町二ノ六)京屋朝鮮支店)より發賣したれば注文次第說明書と共に直に郵送すべし尙同店にては本器の普及を圖らん爲全國に特約店を募集中なれば希望者は至急に申込むが得策也

商況

京東公債直取引(十六日)
五分利 八三・二〇

深川在米特電
十五日現在高 內地米 朝鮮米 … 一〇八、六一五 七五、四二三 一五四、一六〇 …

東京期米特電
十六日前場 三月限 寄付 七・二七 … 七・三二 七・二〇

大阪期米特電
十七日前場 寄付 一五・五三 一五・九五 一六・六一 …

下關期米特電
十七日前場 當限 中限 先限 …

雜報

綿絲綿布低落
東京氣崩れ模樣
綿絲現物二圓安 綿布は二錢五厘高
の入電は封で七十錢安
染料一段落
物價に小口手持の投物現はれ
內地向け需要
和洋紙强含み
洋紙値上說生
和紙類と朝鮮紙
繩叭類の近況
平靜に復す

地方物漸次に增加

海產物の其後
鹽鯖と明太魚季節柄不活氣
昆布と明太魚は季節に至る
各品の荷動きも加はるべし 時期の逼迫と共に

陶器類排底
瀨戸物三割 其他二三割の高値
有田地方の產元 五分上げ

三巳仲買店 海岸町 電話三三三

大阪の鮮米市況
低落に入品の輻輳影響 三四十錢方の
京畿米と落札 十三圓四十五錢
石炭界の其後

下關相場
京城正米
南大門の廻穀
仁川現物市場
釜山穀市場(十六日)
生魚市場

仁川期米 十七日前場 大阪天候晴天前寄十六圓六十一錢 昨止り七錢安の入電二節七十一錢

田中金太郎 電話二六二八番

市場雰聞
△動かず
△前場の手振
△能く賣る
△能く買ふ
△の大商內

森仲買店

仁川米豆取引所 十七日の三月限

△米前途觀
△阪期米の不勢
高値を現出
△天然小相場

訂正廣告 本月十二日發行朝刊第武面廣告中飛行器印消火器奏「消化器」とあるは「消火器」の誤植に就き此段廣告候也

急告 支店長 一地方に於て支店を設置し自ら部下統御を爲し株式又は有價證券賣買に趣味ある者は履歷書に希望地を添へ郵券三錢封入申込者に回答 東京市日本橋區南茅場町十五 現物賣買專門 東京商事株式會社

告香川縣人 新年宴會開催致度に付奮て御參會被成下度此段廣告仕候也 日時 一月二十日午後三時總會開始 會場 京城南山町一丁目松葉亭 會費 金武圓當日御持參のこと 申込所 京城明治町香川縣人會事務所 同 朝鮮實業會社 同 南山町荒木半太方 一月十八日迄 香川縣人會

東京米穀取引所仲買人 東京市日本橋區蠣殼町一ノ二 野瀬久次郎商店

手輕御料理殿待 旭町二丁目美以教會橫 料理人 吉原消次郎

模範牛乳 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

ニツソ 石鹸 洗粉

新荷著 懷中時計 インクレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院

營業品目 肥料部 石鹸部 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所

內科 小兒科 京城永樂町一丁目 村上病院

銃獵の趣味 京城日報代理部

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり 鮮特產 海老の精 朝鮮鎭南浦 富田商會

醇良無双淸酒

醸造元 首藤合名會社 首藤京城支店 首藤釜山支店

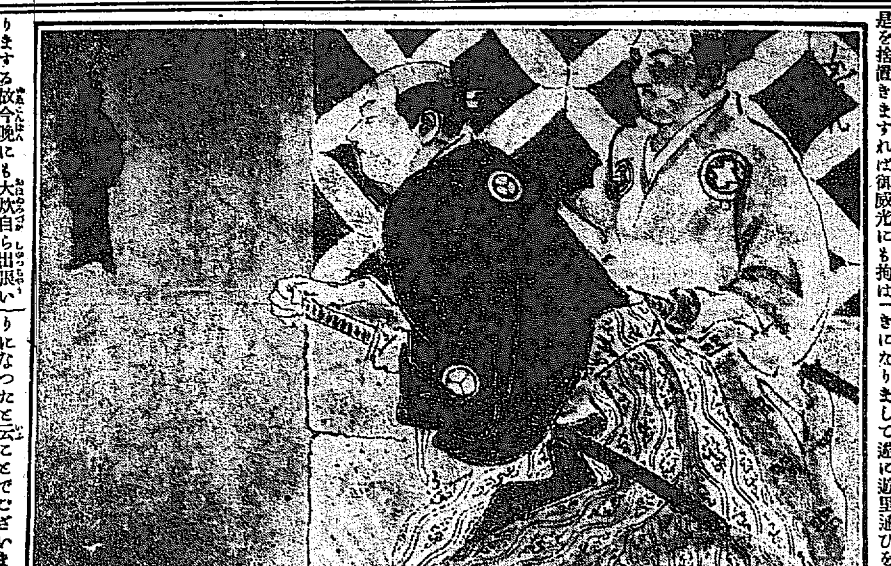
資本金五拾七萬五千圓 朝鮮商業銀行 南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 東大門出張所

汽車時間

[illegible]

明君道中記

第三十二席 田邊南龍口演



土井大炊頭は西丸殿御機嫌伺ひとして家光公の御前へ出で種々お話しを申し上げた末 利『御心得までに申し上げますが、近來紅葉山に年經る狐が居りまして毎夜恐れ多くも君のお姿に化し、眷族を家臣に仕立て是を從へ輭宜町の遊廓へ通ひまするさうにございます、素より君は御賢明にまし／＼てかゝる惡所場へお立入りはあるまじと存じます 家『ウン』利『是を捨置きますれば御威光にも拘はりまする故今晩にも大炊自ら出張いたして彼の狐を打取り明朝御覽に供へまする 家『何に紅葉山の古狐が予に化けて遊里通ひをするとか怪しからんことじゃな、速に打取つて予に見せよ 利『畏りました』と云つて其儘御前を退つた、跡で御近臣が ○『御前樣今晩あたりは穩でございまするし、殊に高尾太夫も待受けて居りませうから行らせられては如何 家『イヤ／＼今晩は叶ん』○『何故でございまする 家『大炊の爺めが予と知つて居つて紅葉山の古狐なぞと申して城外に附狙つて居るから出ると危い』と其夜はお止りになつたが翌朝になると大炊頭が御前へ出でまして 家『何うじゃ大炊、昨夜古狐を打取つたか 利『何うも神通自在の古狐早くも大炊の胸中を察しましたものと見ね昨夜出て參りません 家『成程 利』然し此の上は大炊一人では叶ひませぬ故家臣を大勢選んで鐵砲を持せ今夜御城外を警戒いたさせ、見當り次第打取りますれば遲かれ早かれ其の狐を射つて御覽に供へます故左樣御承知を願ひます 家『ウーン』利勝は其儘御前を退つて主人の擧動を窺つて居りましたが、素より賢明の家光公でありますから是は惡いとお心附きになりまして遂に遊里通ひをお止りになつたと云ことでございます。最も此程は劍術をお學びなされますが師範役は柳生飛驒守宗冬侯でムいますが後には家光公も頗る御上達になりましたが俗に申す沙彌から長老とめより能く出來るものではない、未だ御修行中或日御相手の松平紋太郎大島運四郎伊東左京亮三枝金左衛門なぞにお對ひなされて 家『柔術は實地勝負に渡つて試さんければ腕前は上達いたさんと申すことであるが、何うぞして實地に試して見たいものである 紋『恐れながら罪人をお試しになつては御身の穢れとなります故辻に參つてお試し遊ばさしたら如何でございませう 家『辻に參つて何う試すのじゃ 紋『左樣にございます、夜分淋しい處へ出張りまして往來の者を見當り次第に試しますのでございます 家『ウン左樣か、然らば今晩參つて試めして見る、其方共案内いたせ 紋『畏りました』とお互ひに若い者ですから前後の考もなく西丸城を立出で濠に沿ふて參りましたは九段の中坂、新見伊賀守の屋敷の傍へ參つて往來の者來たれと待受けて居ると、向ふの方より飛脚體の人物が遣つて參りました、家光公是を御覽になつて 家『コレ紋太郎、其方が勸めたのである依て手見せとして彼を投て見ろ 紋『畏りました』と身構へをして小暗い處へ立つて待受けて居ると彼の飛脚體の者は何處へ參るのか急ぎと見ねてスタ／＼／＼前を行き過ぎる、後からバラ／＼ツと蒐けて來つた紋太郎が 紋『待てッ』と聲を掛けた、飛脚は驚いて顧盼く處をエイと一聲掛けて飛脚の手を取り肩にかけ七八間向ふに投げましたから、アッと云つてもんどり打て其處へ倒れ、其儘一時息は絶れた樣子、紋太郎は引返して參り 紋『私も實地を試すのは始めてとございますが却々十分に行れぬものでございます 家『オー然うであらう、樣子も相判つた故今度は予がいたしてくれやう』と家光公身構をして待受けて居ります

本町一丁目三越向電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治

花柳病 皮膚病 須古醫院
京城府永樂町一丁目商品陳列舘通坂上 電話二一〇二番

一月十九日 九星
十二月廿六日 辛酉
木命 四緑 闘 成 先勝

[illegible]

りん病特効新藥
＝化學式製劑エフエクチン＝
急性淋病、慢性淋病、消渇、
ハガキにて申込め説明書無料送呈
試藥提供 切手廿錢送附せよ効力實示の爲本新藥十錠送呈す
東京市本所區向島小梅町
東京藥化學研究所

てんかん（持病で時々發る）
ヒキツケ
困難の方切手三錢送れ永年の病いも自宅でなをす最善の良藥を教ゆ
名古屋市中區南小川町 救生館

質
京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所 電話六三九番

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番
△一月十八日替藝題
前 源平布引瀧 濃紅より物語りまで
中 双蝶々くるわ日記 引窓の場
切 勸進帳 此段當地藝妓出勤
▲出演藝妓人名 辰中内小六、お辰、玉菊、かほる、智惠子△富美の家、久子△花月丸奴 [illegible]
階上階下へストーブ五本設備致候間場内は極々あたゝかです何分御安心の上御來場願上候

御成座 御成町 電話二一九一
●十五日替藝題
前 遊倉銀行は藝者の立引。全十二場
切 喜劇 藝生のトンチは一分間一萬圓 全二場幕なしにて御覽に入れます
[illegible]

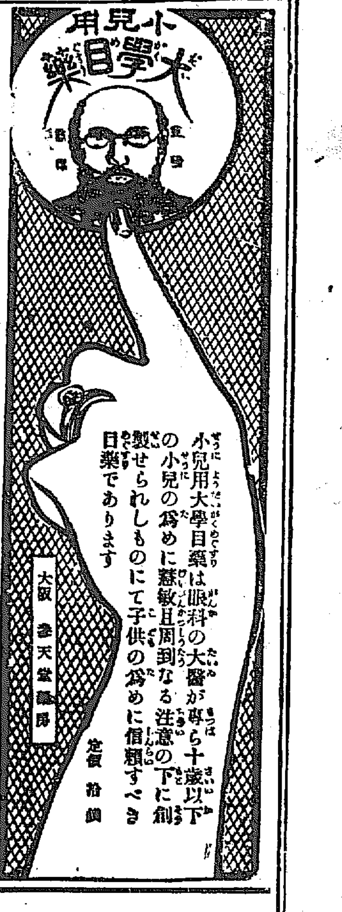
壽館 京城壽町 電話一〇五〇
●獨流浪花節教育的讀物
△一月十八日より開演
▲吉原百人斬(原辰男) ▲一休和尚(吉川辰美) ▲日露戰爭餘談、水府公長講(吉原晴風) ▲義烈百傑長講二席(原晴夢)

稻荷座 本町五丁目
十三日の讀物毎出演者讀物毎日續 ○義烈百傑(竹川一夫) ○いかるが平治(與澤廣駒) ○日露戰爭餘聞(京山光若丸) ○柳生旅日記(藤川粂春) ○名作左甚五郎 ○曾我物語(親友派若) ○手花形竹川馬生)

浪花館 明治町 電話二六〇
▲東京落語柳連雷門助六一行
△一月一日より毎夜五時開演仕候
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店
一月十三日より第三次特別大寫眞
○實寫 獨逸の風景 ○喜劇 求婚の策
△佛國ゴクレール會社傑作 探偵大活劇 夜の世界 全三卷
[illegible]

黄金館 早川直營 電話二六三七
一月十八日より新提供
[illegible]

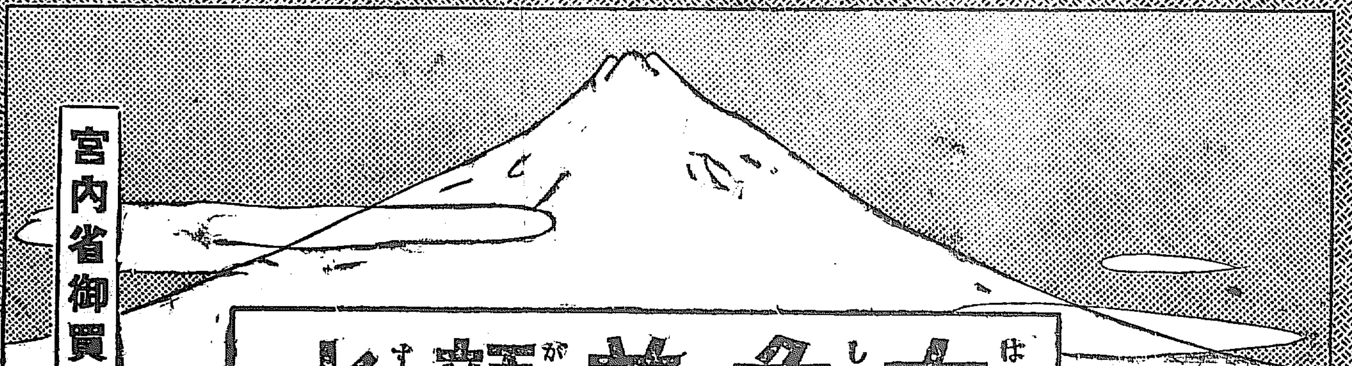


小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歳以下の小兒の爲めに鋭敏且周到なる注意の下に創製せられしものにて子供の爲めに信頼すべき目藥であります
定價 拾錢
大阪 參天堂藥房

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
(尤も熟練せる技術を以て迅速と親切を旨とし御需に應ず)
京城日報社 寫眞製版部

朝鮮人蔘應用 滋養菓子（たべる 丈血と なり肉 となる）
ホーカース井ート
堀越商店の製菓試驗部にて滋養強壯劑眞正朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカース井ートを試みよ到る處に販賣す
東京和泉橋 堀越嘉太郎商店（振替東京一五六）

宮内省御買上品



白色美顔水

▲御化粧上手の婦人

▲此頃の婦人方 は一般にお化粧が上手で大概は極く自然な、地からの色のやうな、極めて感じのよい美しいお化粧をして居られますが併し中には未だ相變らず舊式の不完全なお化粧をして居られる方がありますのは美容上、衞生上、誠に遺憾な事であります

▲舊式のお化粧 ですと、一旦白粉を附けて洗落して復た附けるといふ樣な手數を懸けながら、平生色の白くない方は白粉がごす黒く見ね、厚く附ければ白ペンキの樣になり、薄くすればムラになつたり見苦しい色になつたりするばかりで、ほんとうに美しいお化粧が出來ませんので、毎もお化粧といふと大變な苦勞をなさるのですが、でも然ういふ方でも一度

▲專門學者の手 で創製されて、今非常な人氣になつてる白色美顔水でお化粧して御覽なさいまし。それこそ甚麼方にも上品な、ムラ等の無い、生れつき色の白い樣な、何とも言へぬ美しいお化粧が出來、それが赤顔る勞なく氣持よく出來るのです。此頃の

▲お化粧上手と 言はれる方々は皆この白色美顔水をお用ひになるのであの樣にお化粧が出來るのです。白色美顔水は日本唯一の化粧品研究所たる桃谷研究試驗部の二博士三學士の研究で創製されたもので、普通の水白粉のやうに水と白粉とを混ぜた樣なものでは無く

▲新に發見した 從來の化粧品に使はれた事の無い、美容上の効果の最も強い美容素と、數種の貴重な原料を含む美容液とを以て、或特種の白粉を解溶して製したものでありますから、薄化粧料と美容料との作用を完全に兼備へて、少しも塗らしくなく、活々した光澤、生れつきのやうな色、誠に氣品のあるほんとうに美しいお化粧が出來ると共に、續けて使へば次第に生地まで美しくなる作用のある、眞に完全な新しい薄化粧料なのです。ですから此品は同じ試驗部製の美顔白粉、美顔ユ[illegible]美顔水と共に

▲各宮家御用品 として貴き方々の御間にも御愛用を賜つて居ります。今東京で高貴方の御信用の厚い美容術大家マリールウキズ孃が此品を高貴方に推薦せられたのも、嚴密な御試驗の結果、是等の効果を認められたからで、今や白色美顔水の人氣は益々高く日本一の薄化粧料として、何處へ行ても

▲第一位の賣行 を示してゐます。此頃の婦人方で此品を御存知なき方は御座いませんが、若し未だお用ひのなき方は、今の中早くお試しになつて、學者の發見がどれ程完全なものであるか御實驗なさいまし。お化粧が何うも思ふやうに行かぬなどいふ御歎きは忽ち夢の樣にお忘になつて終ひます

定價 一瓶 金二十錢

名譽ある白色美顔水を創製したる
桃谷研究試驗部
顧問 丹波敬三 藥學博士
山本[illegible] 醫學博士
主任 桃谷[illegible] 藥學士
小磯千[illegible] 理學士
齋藤全[illegible] 藥學士

2577.1.4

東京 桃谷順天館 大阪

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 一四八 四五四 九四四番
振替京城五七番

京城日報

第三版

一月十八日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 前金に限り三ヶ月分二圓六十錢…
廣告料 …
發行所 京城太平通一丁目 合資 京城日報社 電話…
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

下關期米特電

十七日後場(期米前場休會…)

	高値	中値	安値
二月限	一七六〇	一七五九〇	…
三月限	一七三〇〇	一七二九〇	…

…三圓△大阪前止十六圓六十八錢後寄六十七圓四十六錢大阪前止十六圓六十八錢後寄六十七錢の大暴にて當地當中限來不申先十三四〇二錢と同事に寄付一錢さ迄りて動かず一二錢の保合に三節を了へたるが四節に至つて三錢と拂け二錢と依然燻り付きの儘散會

▲後場の手振

重なる商內買方(い)二千餘石當(ゐ)(ろ)各千餘石等に對し賣方(ゐ)(い)各二千石(ゐ)千餘石等にて他は小口商內であつた…べく保合商狀如何…ある手筋は相場を伸びず崩れざるより倦れず投げず斯る塲況にて保合を繰り返し居るが一朝其何れにか分岐せんか保合に馴れたる人氣は忽ち大打擊を蒙り茲に始めて人氣に動搖を來すなるべく其時は先限十三圓二十錢台に昂騰するか…

▲大豆出來品なし氣配は前報せし如く稍强硬の成行を示し居れり

▲後場先限(一)十三圓〆二錢一錢二錢一錢二錢(二)〆二錢一錢二錢(三)〆二錢(四)〆一錢二錢三錢

平均 一節十三圓〆一錢 二節十三圓〆二錢 三節十三圓〆二錢 四節十三圓〆二錢 値段

日支親善

京城日報

過去數年間に亘り、日支の懸案たりし、鄭家屯事件も、彼我折衝の結果、…解決を告ぐるに至れり。勿論、其の結果に就ては、世上諸種の批評あらんも、兎に角日支親善上の、一大邪魔物なりし、本件の無事、片付きたるは、洵に慶賀すべき次第なりと云ふべし。何となれば、現內閣の、對支方針としては、南北兩派に關せず、誠意を以て、親善の方針を一貫し、秋毫も疑はれざらむ事を期し、以て支那國民に、安心を與へんとするに、遺憾なき實行方法を考へ、且つ支那の經濟と、實業とに向て、提携扶掖の、實を擧げ、具體的に親善を、表現せんとするにあるが如ければ、鄭家屯事件の如き、其の將來より考ふる時は、今回の終結に對して、賛辭を呈するに、躊躇せざる所以なりとす。然り而して、其の內容を見るに、累行責任者の處罰、支那の謝罪、被害邦人に對する、損害賠償は、支那側の、承諾する處となりしも、警察權問題、軍人顧問問題は、支那側にて、體面論を固執して、之に應せず、更に我の、强要を重ねんか、折角進捗の行途にある、日支の親善關係、根本より破壞せんとするの、憾なき能はざるが故に、我政府は、多少の讓步をなし、以て圓滿解決を見るに、至りたるもの、如し。然れども、警察、軍人の兩件に對して、讓步を行ひたりと雖も、全く之れを、放棄せし譯には非ず。警察權問題は、滿蒙の秩序維持上、依然最も必要なるが故に、既存の、警察配置は素より、今後と雖も、秩序維持上、其の設置を必要とする、場合に於ては、支那官憲と商議の上、地點を限りて、之を設置すべく、軍人顧問々題は、其の性質上、我より强要すべきものに、非ざるを以て、支那の自由意思に委ねたる、次第にして、唯だ其の形式が、條約となるべきものを、覺書に、改められたるものなり。斯くて日支親善の、障害物は、茲に芟除せられたると共に、支那側に於ける、親日形勢は、近時益々、其の現象を騰め來り、南北を通じて、日本と握手せんとする、顯著なる傾向あるは、大に注目すべく、大に賀せざるべからざる處也。即ち青木中將の、軍事顧問々題の如き、南方親日派より、發議せられ、黎總統の如きも、親日に誠意を注ぎ居れるは、夙に世人の能く知る處なりとす。殊に北方及び、中立派両々の態度が、從來の排日的思想を一變し、稍もすれば、排日方親日派を出し拔きて、進んで親善の、誠意を致さんとするの觀あり。此の如く、支那南北の官民が、若くは誠意を以て、親日の必要を、感じ來れるもの、如し。茲に至つて、過去を追想せば、實に今日の日支親善は、全く時代を、一新せるの觀あるは、誠に慶賀すべき事共なりとす。然り而して、寺內首相が、各黨各派の、黨首及び、領袖に對して、披瀝したりと傳へらるゝ、現內閣の對支方針が、從來兎角形式に流れ易かりし、日支親善主義を、根本的に確立し、黨同伐異、紛擾常に絕ねざりし、隣邦に對し、最も公平なる態度を以て、機會均等主義を持し、以て國民的外交を行はんとするにありと云へば、茲に愈々誠意ある、根本的日支親善は、成就せらるべし。兩國の幸福、蓋し之に如くものなかるべく、且つ東洋の爲、更に祝福するを、禁じ得ざる也。

朝鮮の土地と人口包容力(上)

渡邊彰(寄)

朝鮮の土地に於ける人口の包容力を詳言すれば朝鮮の地上には將來若干の人口を安全に生存せしめ得べきやと云ふ問題を提げて實際的に研究することを目的とするものにて是吾人の生存上別して同胞の子孫繁榮と土地の繁榮を圖る爲に尤も緊切なる事項たると同時に政治上、經濟上特に社會政策學の理論を應用する上に於て興味深き事柄なりとす

抑も朝鮮は土地の面積に比して人口稀少なるが故に天賦の豐饒も空しく遺棄して地方の活用を停頓するの實相を世人に示すこと年久しかりしが歐米諸國の東洋に對する漸進政略は朝鮮の土地をして永く舊時の狀態に在らしむることを許さゞる事情を生じ官民協力して一大會社を創立し以て拓地殖民の事業を經營せむとの自覺を生じ卽ち特殊の法律を設けて東洋拓殖會社の成立を見るに至りたるものなり。會社成立の趣因玆に在りとすれば吾人が國民の一員として此會社の主たる事業否朝鮮の拓植に對し全く無頓着の地位に在ること能はざるも亦は自明の理なり故に予は假令拓地植民の事業に經驗なしと雖も自ら信じて是なりとする所は之を發表して同志の人々と共に拓植事業の發達上に貢獻するの勞を惜まざるの覺悟なかるべからず

元來拓地植民の事業は時の古今を問はず一國の內外を論せず其の事業を實施し之に伴ふ功を收めむとすれば先以て其の土地全體に亘り其の地方を綿密に調査し因て以て其の土地に將來若干の人口を包容して恙なく之を生存せしめ得るやと勘査することを第一要義とするものなり若し其の土地に於ける包容力を計らずして移民を獎勵するときは恰かも一升の容器に二升の物を盛るに均しく忽ち溢して意外の失敗を招き且つ移住者をして萬斛失望の境遇に陷らしめ寸利を見ざるに先つ尺害を來たし事總て畫餅に屬するや必せり然らば則ち何れの點より考察を下しても拓殖事業の要務は吾人が相率て其土地に永住し適當の業を營みて其生存を滿足し得る地力の有無を調査し之を明示するに在りと云はざるべからず然るに此の地力調査の事業たるや或る程度までは全不生產的の事業なるを以て到底一私會社の力を以て之を遂行し成就し得べきにあらず故に東洋拓殖會社成立以來世の識者が憂慮せし所は當務者其の人を得難きにあらず社資乏しきを患ふるにあらずして如何にして事業計畫の基礎を確立するやの點に在りたり幸にして政府の諒納成立し且つ朝鮮總督府の施政以來…有餘の歲月と巨萬の財を費して各種の方面に亙り各種の調査を遂行し以て會社と云はず一般人と云はず苟も朝鮮に於て拓地殖民の事業を經營せむとする者の爲に有益なる參考資料を供給するに努められ今や既墾地の面積は土地調査事業の進行に伴うて十中八九は明確なる實積を得るに至り又林野區分調査及び鑛床調査に依りて將來林業鑛業等を營み得べき地積の分布も明瞭となり又道路の開修河川の調査等に依りて水陸運輸業特に利水事業の振興を圖るべき概況を察知するの便宜を得又潮流關係の調査進行に伴うて水上生活者の增加と水產業の發達とを促す好材料豐富なるに至れり之を要するに卽今の實狀に於ては各方面に涉り各種の調査悉く具備せりと云ふ能はざるも先以て朝鮮の地力卽も人口の包容力を概括的に達觀し得べき材料を提供せられたるものと見るを得べき時機に到達せるものと云はざるべからず

「大正の青年と帝國の前途」を讀む(十九)

十二月十二日 上海にて 大谷光瑞

其他天台宗、眞言宗、淨土、日蓮等皆教旨は決して葬祭を説かず、第一義諦を説けりと雖も、第一義諦に依ては、現世に於ては、衣食の用をなさず、故に斯部を除かば、概ね葬祭本位たるを免れず。是初め死者に對する追孝より、進んで冥福を祈らんとするに過ぎず、終に倫理教育より、宗教の範圍に流入せるが如し。眞宗の如きは、斷じて冥福を説かずと雖も、衣食の資たるを以て、斷然葬祭を拒絶する能はず、種々の强辯を以て、教旨に牴觸せざらしめ、猶盛に歡迎せり。眞宗以外、冥福を説ける教旨に於ては、之を唱道し以て其所に投ぜり。今冥福の有無を論ずるの遑なし、有たると、無たるとに關せず、自ら之を行ふと、他之を餽ると、劫に優劣あるは論を俟たず、若し福を欲せば、何故に死者の生前に冥福を得せしめざるや。生前に佛教を閑却し、死後之を行ふ、其利孰れか厚、孰れか薄、又論を要せず。電報は假令詳細なりと雖も、到底面談に及ばざるなり。今日に至ては既に冥福の意すら是を缺き、習慣上是を行ふに過ぎず。即ち新年に祝餅を食ふと等しく、死後葬祭に僧徒を招き、讀經を乞へり。茲に至て一たびは、再び宗教より、倫理に遷れり。今倫理教育より、宗教に入りたる葬祭は即ち一の儀禮に過ぎざるなり。儀禮は宗教に非ず、倫理なり。故に青年等は儀禮を信せず、儀禮素より行ふべく、信ずべきものに非ず。信せざるも亦其所なり。素より宗教として儀禮は伴はざるに非ずと雖も、儀禮は假なり、假を拜して眞を忘るゝ是れ人の服せる衣帽を拜し、其人の存するを忘るゝが如し、人誰か愚を笑はざらん。今の世少數者を除けば、多くは衣帽に鞠躬如として之を禮せり。衣帽…からざるに非ずとするも、遂に眞人に及ばざるなり。故に葬祭の如きは、宗教の範圍に非ず、倫理に屬す。其價を賤すると、否と、關する所に非ず。今不肖の言ふ宗教は、如此きものに非ず。夫れ人は他の動物に超越す。故に虎豹の猛、蝮蛇の毒を以てするも人終に之を制す。人にして人に越んか、能く人を制するに足る。我人を制するも人に制せらるゝを欲せず。佛教は人類を超越せるのみならず、萬物を超越せり、是を信せば、即ち大自在を得て、萬物生れながら其の制を受く、大智慧あるが故に畏るゝ所なし、大慈悲あるが故に他の我に敵するなし、大方便あるが故に行つて成らざるなし。智慧、慈悲、方便を具せば、何の畏懼か是れ有らん。是の三を具するに非ざれば、完しと云ふべからず。

米國に於ける煙草トラスト

其の沿革と事業經營(四)

一、煙草トラストの起源沿革

米國煙草トラストは野火燎原の勢を以て米國の煙草界を風靡し、殆ど自國內に於ては爲す可き限りを盡したり。然かも隴を得て蜀を望む彼れトラストの野心は國內發展を以て足れりとせず、內に結束を固くし、更に外國市場侵略の雄圖を定め之に向つて邁進せり。其の外國發展は實にトラスト活躍の最も花々しき一齣たり。

▽英國市場攪亂 トラストの外國市場飛躍の幕は先づ千九百一年獨逸ドレスデン市のヤスマッチー紙卷工場併呑の塲に始まり、翌一九〇二年には英國市場の煙草事業を九百萬弗の資金を以て其手中に收めたり。而かも、語るべく最も興味ある事實は英國市場に於ける競爭也。一九〇一年英國リバプールなるオグデンス、リミテッドと稱する一大會社は當時既に米國トラストの勢下に在りたる大英煙草會社の買收する所となり、愈々米國側の會社として英國…同業者と競爭の地位に立つや、…オグデンス會社は直ちに其製品を…して挑戰の態度に出で爲めに英國側の獨立會社は各々打擊を蒙むり、自衞上米國側のオグデンス社に拮抗する爲め、其の勢力を糾合してイムペリアル煙草會社を組織したり。茲に於てか英、米の二大會社は英本國內に於て猛烈なる競爭戰を開始し、各相下らず、慘澹たる白兵戰を現出せり。

▽販賣者爭奪 イムペリアル社(英)は販賣者に對し、彼等が米國トラスト製品の取扱ひをなさゞる時は年に七十五萬弗の賞與金を分配すべきを契約し、之に對してオグデンス社(米)は販賣者が四年間米煙を取扱ふに於ては毎年百萬弗の賞與金を分配する外、尙ほ自社の純益より配當をなすべきを契約せり。競爭兩會社の販路獲得戰は斯くの如く激烈にして、英國內の煙草販賣業者中約四千五百人はオグデンス社の誘惑に釣り込まれトラスト品は遠慮會釋もなく英國內を潤步せり。而して米國會社は其味方たる販賣者に對して賞與金百萬弗、純益配當二十萬弗合計百二十萬弗を年々分配すべき旨を約したり。

▽英米煙草會社 斯くの如き競爭行爲は英米兩社にとり其の繼續するほど浪費を重加せしめ久しからずして兩社は競爭の苦痛に堪へず遂に和を講じて協定の約を結ぶに至れり此の協定に於てイムペリアル社(英)はトラストが英國市場より勇退する報酬として七百五十萬弗を交付することゝし更に兩社は堅き提携の下に外國市場に飛躍する事となり米國會社はイムペリアル會社の株式一億弗の三分の一の選擇權を賦與せられたり。而して英米兩國以外の外國市場に於て兩社製品の競爭を避くる爲め協力して新たに一會社を設立し、其資本金を三千萬弗とし、英國側會社は其の三分の二を出資し、米國會社は三分の一を出資し、立ろに一會社の創立を見たり。之れをこれ英米煙草會社となす。而して新會社の理事としては英國側より六名、米國側より十二名を擧げ、社長にはチューク氏を任じたり。此れにて英米兩會社の競爭は段落を告げて納まりたるが然かも納まらざるは好餌を以て誘はれ居たりし英國の販賣業者の胸中なりき。

日報歌壇

龍山 岡本小草子

■監禁の大風呂敷よ幾年か我れの泪にぬれにけるかな

■春の空眺めてあれば限りなく好き追憶の湧き出づる哉

京城 青水

■亡き兄を思ひて空を見て立てば妹も又來て並びけるかな

■更に善き行をせん僅かなる事にも悦ぶ母君ますに

京城 廣安つれな

■我投げし蜜柑の皮がプッカリと浮ける港の靜けきまひる

■神鳩の殊に白きが可愛かり拍手打てば吾身廻るも

■豆遣ると袂輕げに鳩の群を呼ぶ子ありき朝のみ殿に

競爭入札購買 朝鮮總督府遞信局
一、電話機其他七點 一廉
一、碍子三點 一廉
詳細一月十七日ノ本府官報ニ在リ

最新刊
當世百道樂 堀內新泉 一、二〇
大正六年用日本紳士錄 交詢社 五、〇〇
民事訴訟法判決實例 岩松堂 三、〇〇
世界の產牛 井口賢三 三、〇〇
新書道之研究上下 木村剛石 各八五
吾國民教育の革新 …仲太 一、五〇
日本帝國國勢一班(第卅五回) 一、一〇
比律賓政涉 土屋元作 二、〇〇
大山元帥 西村文則 一、二〇
食物化學 澤村眞 一、八〇
通俗土壤學講義 船津常吉 一、二〇
通俗綠肥大全 矢崎亥八 一、八〇
青年活路勇氣の修養 田中、杉山 七〇
新モンロオ主義 厨川白村 一、〇〇
新劇豐臣秀吉前編 芳瑠璃園 一、八〇
新劇萬葉集 木田吉太郎 九〇
新劇平家物語 同 九〇
新撰日本書畫名家年表 矢野幸六 二、五〇
大正五人男 村上浪六 一、〇〇
女のくせに 中平文子 五〇
小説須磨の家 渡邊默禪 五〇
ペン數字練習帖 大阪屋號編 一〇
大阪屋號 京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城二五七七

新春のお寫眞は南大門通の京城寫眞舘にておうつしあれ 技術優秀・價格低廉・室內如春

門鑑紛失廣告
一、步兵第七十八聯隊門鑑第六十四號
一、砲兵第二十五聯隊第六中隊門鑑第十三號
右大正六年一月九日午後五時ヨリ午後八時迄ノ間ニ於テ自宅ニテ紛失致候ニ付御拾得又ハ發見ノ御方ニハ相當謝禮仕ベク候間御通知被下度候
京城府龍山榮町 大草鶴之進

京日案內
普通 一回前金 一行(一番名)… 五十錢 番外 一回前金 同 一拾錢
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◉成金 東京大阪定期株各五十種の日商低を極秘迅速通信す詳細要券 京城蓬萊町三ノ四一 電通舍 50
多忙なる雜貨店に確實なる帳場一至急入用(姓名在社) 57
◉看護婦二名見習五名採用す 志望者は來院の事(仁川佐藤病院) 59
◉古本熱心高價買入 ◉居非御試賣を乞 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 59
有給外交員募集 希望者履歷書携帶本人來談 日本生命京城出張所 60
古本買受申候御報參上 本町一丁目(明治町通) 野村書店 電話二六三六番 51
店員募集 年齡二十二歲以上四五歲迄の者但し市內に確實なる保證人二名を要す 明治町二 唐川吳服店 52

番外
◉京城春川間行自動車貸金片道四圓 京城春川間每日午前八時卅分出發 南大門通一丁目 廣橋自動車 電話二一九番 主務 金正淵
皮膚病徵毒淋病 專門 京城明治町二丁目(元曙町) 看護婦入用 見習看護婦 佐藤醫院 46
◯集金係至急採用 但三十歲以上の者にて市內に確實保證人二名を要す 希望者は來談あれ 黃金町二丁目 明治公債朝鮮支部 32

質 開業 太平通二丁目五八(慶華園裏) 本多質店

石炭販賣廣告
弊商會は明治鑛業株式合資會社朝鮮支店の後援を受け同社經營に係る朝鮮產の安州炭並に內地產の各種炭を一手に取次ぎ卸及び小口販賣を開始仕候間何卒多少に不拘御用命被下度奉願上候
京城南大門通五丁目十七番地 岩田商會 電話二六六番
同 西大門驛前 岩田商會出張所 電話一六七九番
岩田商會特徵 斤量正確 價格低廉

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候
京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著 改訂增補第三版
朝鮮不動產商業登記申請書式並心得
●紙數四百八十頁 ●代價金壹圓 郵稅拾錢
本書は既に再版一萬部を賣盡せしも尙各方面より注文盛なるを以て之の盛大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補を施し茲に第三版を發賣するに至れり抑登記に關する知識は本書に盡して餘蘊なし
不動產登記の部には土地調査に關聯せる申請書式並に土地臺帳登記法に依る申請書式並に印鑑證明願、改印屆、保證書、契約書、委任狀、登記に關する決議書等併て百二十餘件並に共同擔保目錄、圖面等苟も申請人の參考となるべきものは擧て各書式の末尾に之を掲げ加之官通牒、例規等を添へ
商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を明釋し以て疑義を一掃し以て土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり
賣捌元 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

謹告
大阪朝日新聞讀者各位へ
拜啓弊店儀大阪朝日新聞販賣取扱以來多年御引立を蒙り候段奉謝候然る處今回都合に依り驗方示談の上右取扱を大阪朝日新聞販賣所へ引繼き候に付右御諒承の上不相變御愛顧の程希上候茲に從來の御厚誼を謝し右御披露申上候 敬具
大正六年一月
京城本町 町田新聞舖
龍山 同 支店
仁川 同 支店
追て一月分新聞代は大阪朝日新聞販賣所へ御支拂相成度候
前記の通り今回町田新聞舖取扱の大阪朝日新聞當地方の取次を擔店へ引繼候就ては敏活叮嚀に配達可致は申迄も無之諸事一層勉勵御便利相計り可申候間倍舊御引立の程奉希上候也 敬白
南大門通二丁目 大阪朝日新聞通信部內 大阪朝日新聞販賣所(電話三九七番)
龍山驛前 大阪朝日新聞販賣所(電話七二二)
仁川宮町三丁目 大阪朝日新聞販賣所(電話七六八)
右の通り販賣店變更致し候間御諒承の上一層御愛讀の程奉希上候也
大阪朝日新聞社販賣課

…玉…の妻…なり約十一箇月…と脅喝し…提怖せしめ同人より金百十五圓を捲き揚げ咸興地方法院會寧支廳にて懲役五箇月の判決を受けしが不服とし京城覆審法院に控訴せり…り居れる內文吉官なる者の周旋にて…田島平江居住の申元明方に厄介になり…同棲したるも離婚の末同女は其後…なる金龍洙の妻…

○對日方針發表見合

十六日國務會議の結果對日方針發表を姑く見合す事に決定せるが右は內務部の方針決定せざるに原因せるものなり(北京特電)

○吉長借款秘密會

十六日支那衆議院は吉長借款に關して秘密會を開き審査委員の報告あり一同右審査報告を認め直に政府當局より日本當局に對し年限短縮及營業管理を中日合辦に變更し再交渉を爲さしむる事とし第二討議會を開く事に決したり(北京電報)

○政友對國民黨回答

同時に覺書交附=國民黨單獨行動か

政友會總務床次竹二郎院內總務川原茂輔の兩氏は十七日午前十一時國民黨本部を訪問し野添代議士會長濱田院內幹事に面會友黨關係持續に就き回答する所あり同時に左の覺書を交附したるが野添氏は右に對し今後は遺憾ながら單獨行動を執る事となるべしと答へたり(東京特電)

覺書

超然內閣は吾人の理想に反する事勿論に候へ共內外時局に鑑み暫く現內閣の施設する所を觀て相當の處置を執る事に致し候に就き議會開會の劈頭に於て直に不信任の決議を爲す事は遺憾ながら贊同致し兼候但他の諸問題に就ては從前の如く互に交渉致し度希望に堪へず候茲に友黨たる貴黨に對し深刻の敬意を表し候

○國民黨對兩派交渉

決議の結果政友會との交渉打切

國民黨にては十七日午後二時より本部に在京代議士會を開き政友會の回答に對し協議の結果左の如く決議し同時に決議の趣旨に基き直に憲政會及び公正會に對し更に政友會に對して爲したると同樣の交渉を開始せり(東京特電)

決議

政友會の覺書には議會開會の劈頭直ちに不信任案の決議を爲すは云々とあるも同會は如何なる時機を論せず到底不信任案に對し我黨と行動を共にする能はざるものと認め交渉は之れを以て打切りとし更に憲政公正の兩派に對し議會開會の劈頭に於て不信任案提出の交渉を爲す但右の交渉は直に野添代議士會長、濱田院內幹事をして之れに當らしむる事

○米國火藥庫の爆發

米國ハスケル市デユポン火藥庫十四日夜爆發し協商國側よりの注文にかゝる二百萬弗の火藥烏有に歸せり(紐育電報)

○地方官の更迭

十七日左の如く地方長官の更迭ありたり(東京特電)

岐阜縣知事
任長崎縣知事(一等) 島田剛太郎
佐賀縣知事
任岐阜縣知事(二等) 石橋和
茨城縣知事
任佐賀縣知事(三等) 岡田宇之助
大分縣知事
任茨城縣知事(二等) 力石雄一郎
河村武治
任青森縣知事(三等)
青森縣知事 小濱松次郎
山口縣知事 黑金泰義
依文官分限令第十一條第一項第四號休職被仰付(各通)
長崎縣知事 李家隆介
依願免本官

▲兩部長の更迭 十七日左の如く內務警察兩部長の更迭ありたり(東京特電)

任新潟縣內務部長(三等) 大分縣內務部長 田中喜介
任岡山縣內務部長(三等) 福岡縣警察部長 長延連
任大分縣內務部長(四等) 正五位勳五等 武井禎太郎
任和歌山縣內務部長(三等) 岡山縣內務部長 道岡秀彥
任大阪府警察部長(三等) 岡山縣警察部長 香坂昌康
任熊本縣警察部長(四等) 三重縣警察部長 山岡國利
任福岡縣警察部長(四等) 警視廳警視 黑瀨弘志
任岡山縣警察部長(五等) 從六位 鯉沼巖
任三重縣警察部長(五等) 新潟縣警察部長 錦織幹
命休職(各通) 熊本縣警察部長 大島破竹郞
和歌山縣內務部長 馬渡俊雄

○白仁長官釜山發

白仁關東都督府民政長官は十七日夜釜山著新羅丸にて內地に向へり(釜山特電)

○鑛石問題解決

天寶山鑛山は昨春開山以來其採掘せる處の鑛石は已に巨額に達せるも同所には未だ之れを精錬するの設備完成せざるを以て已むなく之れを日本に輸送すべく舊冬十二月中旬牛車二十餘輛に滿載して輸送を開始せし處延吉道尹張顯軒氏は該公司が擅に鑛塊を日本に輸送するは不法行爲にして支那主權の喪失を來たす者なりとて直に六道溝稅關に合して盡く輸送の鑛石を差押へ一面には省長に稟申せし處郭省長は之れを中央政府に電請せしに此程北京農商部は該鑛石の自由出搬を許す旨を郭省長に訓電し來れり(奉天)

○浦港貿易沈衰

金融は稀有の緩漫

從來殷賑を極めし輸入貿易は鐵道貨車配給不足と輸入禁止令發布とにより(實際未だ實施せられざるも)十二月に入り益々不振の商況を呈し出入船舶頓に減少せり然も一方

▲露國公債募集 とルーマニヤ方面戰局の不利と哈爾賓市場に於ける特產物輸出商の手控へとにより爲替相場騰貴して遂に百九十留を突破せしかば輸入の手控と荷受の見合せと在庫品の賣捌きとは相俟つて輸入商の手許を潤澤ならしめしかば銀行預金の如き年末に拘はらず多大の增加を示すに至りしと共に日本送金及び被仕向取立手形入金の總額は十一月の百三十三萬圓十一月の百七萬圓に比し非常なる減少を示し八十九萬圓に止まり引續いて輸出貿易を見るに日本に於ける

▲滿洲特產物 の相場が講和說の爲めに暴落を見るに至れる前に於ては相當注文入荒せしも何分哈爾賓との通信不便にして電報の往復に三四日を要し且つ貨車配給不足依然たるが爲めに出廻り捗々しからず何れも引受けに躊躇せしかば何等活躍を見るに至らざりき之れを要するに輸出入商共見るべき取引少なく爲めに資金に餘裕を生ずるもの多く正月以來未だ嘗て見る能はざりし金融緩漫の狀態にありて越月せりと

○交通銀行借款

近く成立せむ

十六日本紙北京特電に見ゆる如く日本銀行團(興銀鮮銀臺銀)と北京交通銀行との間に二千五百萬圓の借款成立せりと云ふ但し未だ關係銀行には最後の確報來らず其の公表を憚りつゝあるに付種々條件等に關する聞き込みも德義上其の掲載を見合はすべきも要するに巨額の借款の成立近きにあるは否むべからざる事實にて尙ほ交通銀行に對する諸種の交渉は北京に出張中の山成鮮銀理事之れに當りつゝありと

○移民規則脫稿

監理官臨席の重役會議に附議

東拓にては既報の如く川上理事主となり移民規則の改正に關し審議中なりしが大正六年度移民募集期の切迫せると石塚總裁の東上前大體に於て決定の必要あるを以て其の成案を急ぎ漸く脫稿せしに付十七日午後一時より鈴木監理官の臨席を求めて樓上に重役會議を開き慎重審議を凝せしが通過の上は直ちに總督府の認可申請を行ない認可を得ば之れを公表すべし尙ほ其內容は未だ詳報の時期に非ざるも要するに現在第一種自作移民及び第二種地主移民共其の移住條件に多大の改善を加へ會社の保護を厚うし會社と移民關係に密接の度を增さしめんとするにありと

○冬季漁業試驗

總督府にては今年度より冬季沖合漁業試驗を開始し全北忠南沖合にては現に之が試驗中なるが京畿沖合に對しても亦た同試驗施行の事に決し本府は之を京畿道に委託して一月二十日より仁川沖合に延繩漁業試驗を開始の筈なるが試驗期間は約三箇月の豫定なり

○石炭補給計畫

現今石炭拂底して恐慌を惹起せんとするに當り關係當業者は各自安州及び九州炭を搬入し又撫順炭の配給を得て焦眉の急に應せむと苦心中なるが之等の計畫實行の曉には供給は充分なるべき見込なり

▲安州炭 明治鑛業株式會社は其所有の成川江沿岸安州炭坑の貯炭目下四千噸許りあるを機を用ゐて驛に積み出し平壤京城其他沿線に分配せむ計畫なるが同炭は質良好ならざるもストーブ用に混用し得べく價格は南大門著一噸切込炭七圓五十錢持込八圓十五錢にて十七日夜落荷の筈

▲九州炭 三井物產にては歷濟炭約二千噸を來月中旬迄に移入する筈にて目下備船を求めつゝあり古河も亦筑前炭五百噸を引かむと計畫中にて共に到着後は一噸十五六圓の價格ならむ此中特別契約の分六百噸を除くも目下の貯炭を合して四千數百噸に達すべければ市中の需用に充分なるべしと

▲撫順炭 の配給減じて總督府及び鐵道局への納品出來ず當業者は目下滿鐵本社に人を派して交涉中なるも今日の處見込少く九州炭を入れて補はざるべからざるも價格、引合

○京城電氣增配

當期年九分の割に決す

京城電氣株式會社にては屢報の如く三百萬圓の增資を近く行ふ事に確定なるが來る二十二日有樂町生命保險協會に於て開會する第十七回定時株主總會に附議する事となり居れるが增資決行に際し株價の引上げを行ふ必要並に當期成績良好なりし爲め總會に附議する利益分配案は年九分の割とし前季に比し一分の增配を行ふ事となれり利益分配案左の如し

▲一金七十七萬八千七百八十七圓	當期總收入
▲一金三十五萬八千〇四十七圓	同支出
▲一金三十五萬千七百四十圓	當期利益金
▲三萬二千七百五十五圓	前期繰越金
▲三十八萬四千四百九十五圓	合計利益金
內譯	
▲五萬圓	償却金
▲一萬六千圓	準備金
▲一萬四千圓	別途積立金
▲三千圓	使用人退職給與金
▲八千五百圓	役員賞與金
▲二十九萬九千八百七十五圓(年九分)	當期分配金
▲三萬三千百廿一圓	後期繰越金

○漢城銀行總會

株式會社漢城銀行は十七日午後三時より同行樓上に於て定期株主總會を開き大正五年下半期決算案を附議し全部原案の通り決定したり今其成績を聞くに同期末現在總預金三百四十一萬餘圓にして前期に比し平均額七分餘を增加し總貸出金三百四萬餘圓にして平均額二割三分の餘を增加したり而して同期中總益金二十四萬二千餘圓總損金十七萬八千餘圓內差引純益金六萬四千二百餘圓之に前期繰越金一萬七百餘圓を加へ計金七萬五千八百七十七圓十九錢の內金七千五百圓は積立金五萬二千五百圓は株主配當金に(前期同樣年七分の割)四千圓は役員賞與金交際費及び行員恩給基金に殘額一萬一千餘圓は後期繰越金と定め頗る好成績なりと

○客年清津貿易

大正五年中に於ける淸津貿易は一般貿易に於て輸移出五十五萬一千二百四十六圓輸移入二百四十七萬四千二百六十八圓計三百二萬五千五百十四圓にして之を大正四年貿易額に比すれば輸移出に於て二十二割四分輸移入に於て二割にて三割五分の激增を示せり又た通過貿易は十一月迄の累計七十四萬四百五十六圓にして十二月分を合算すれば八十五萬圓に達すべく之を昨年に比すれば約五割七分の激增を見たるが一般貿易通過貿易を合算せる總貿易額は三百八十七萬五千餘圓にして正に四百萬圓に達せんとする有樣にして開港以來九年間の淸津港としては健實なる發展と云ふべきなり(淸津)

○咸北の隱元豆

時局の關係より昨秋來頓に輸移出旺盛を極め淸津港の貿易界を賑したる隱元靑豌豆の大正五年度咸北道收穫量に就て最近道廳の調査に依れば隱元の作付反別一千百九十町四反其收穫量五千二百廿四石靑豌豆の作付反別七百五十五町八反步其收穫高四千二百十七石なるが從來隱元及靑豌豆等の用途は極めて狹少なりし爲め之を栽培する者なく主として自家用に供する目的を以て栽培せられたるも秋來價格の昂騰と共に商人の地方に買出に赴くもの多く競爭買の結果は自家用とせるものをも放賣するに至りしが此等栽培の有利を觀取せし農民は本年は大に栽培反別を增加し收穫量も隨つて增加するに至り將來北鮮の名產たるに至らん尙ほ隱元及豌豆は共に北鮮地方の氣候地質に適せるが殊に隱元は豆滿江沿岸に靑豌豆は鏡城以南今の間に適するものゝ如し(淸津)

○京電本年度の擴張

京城電氣の市內電燈擴張は其の後引續き繼續中なるが成績良好なるを以て本年度更に六千燈の擴張を爲す豫定也

○哈爾賓より

▲密山炭の賣行 吉林省密山縣の採鑛公司は昨年十月頃より營業大に展し其炭質佳良なるを以て商港及び哈爾賓方面に多大の需用者を生ずるに到り同公司は目下の石炭賣行の好期節に乘じ巨額の石炭を哈爾賓に輸送せんと欲し已に吉長線九站貨車不足の爲め之れを延附すると能はず非常に困じ居れり

▲日本磁器の勝貫 哈埠內外人所要の磁器は元と多く露國製品に係りし處歐洲戰爭亂來露製品來らざる爲め日本製磁器の輸入激增し次第に販路を開拓せる處目下東淸鐵道運輸不能の爲め該磁器の缺乏甚だしく其價格は非常に騰貴しつゝあり

▲討匪用軍馬購入 奉天洮遼鎭守使吳與權中將は蒙匪討伐用の軍馬購入の爲め季參謀官を海拉爾地方に派遣中の處同人此程精良なる軍馬八百頭を購入し哈埠を經て歸署せり

入京消息

▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 十七日夜入京南大門へ
▲西田淺次郎氏(大阪貿易商) 同上原金へ
▲石井光雄氏(鮮銀釜山支店長) 十七日入京不知火へ
▲小木虎次郎氏(工學博士) 十七日夜退京

南言北語

米國大統領は毎週月曜日に新聞記者と會見する事になつて居るが▲大統領選舉や何や乎でツイ此の半年許りは中止して居たが▲去年の十二月十八日の月曜は大統領が結婚一年目の記念日であつて其の夜は夫婦連れで芝居などへも出掛けたが▲其の日の午だ半年振りで新聞記者の會見を復活して今後毎週一度月曜日に新聞記者と會見する事とした▲其の日に參集した新聞記者は都合四十名計りで大統領は細の背廣を著て愉快相に誰とでも打ち解けて語る處は六十の老人とは見ゑずつやゝゝした四十位に若く見ゑた相だ▲警保局長の永田君は役人離れのした愉快な人で坐談などにも脫俗の趣味がある▲同君の政客觀と云ふのは極めて要領を得てゐるから鳥渡紹介せう▲政治家は頭が新らしくて大勢に通じて居なくてはならないのは無論だが▲元老を舊時代の遺物の如く心得て一も二もなく排斥するのは好くない▲山縣公や大隈侯の如き老先輩にも面會して意見を交換して見ると現代の政潮に通じ大局達觀の感がある▲だから少壯政客も須らく襟度を大にして新人舊人の別なく廣く天下の言論を容る雅量がなくてはならぬと▲黨人黨臭を知らず永田君の斯言は正に頂門の一針ではあるまいか

○聯合軍慰問會

總裁副總裁決定

既電の如く聯合軍慰問發起人會は十七日午前十一時より首相官邸に於て開會近藤廉平、鄕誠之助、大倉喜八郎男を始め京都、大阪、横濱、名古屋の各實業家約七十七名出席主人側よりは寺內首相を始め後藤內相、本野外相其他出席寺內首相より一場の挨拶あり終つて正副總裁以下役員の選舉を行ひたる結果總裁に德川家達公副總裁に島田三郎氏澁澤榮一男決定次で澁澤男より同計畫發起の動機に就き報告あり午餐を共にし午後三時散會せり(東京特電)

○立花中將動靜

立花第十九師團長は十六日午後三時平壤著柳屋旅館に投宿し十七日午前八時第七十七聯隊の實彈射擊場附近の視察を遂げ午後六時頃平壤に臨み初年兵教育の狀況を視察したる上午後三時發列車にて新義州に向ふ筈なり(平壤特電)

○美濃部總裁著連

美濃部鮮銀總裁は十七日大連著一泊の上十八日旅順に赴き關東都督府官吏其他を招待し十九日再び大連に歸り同夜大和ホテルに於て民間有力者を招待する筈(大連特電)

○田村林學士講演

林學士田村剛氏は十七日夜釜山小倉庵に於て京園學の講演を爲せり(釜山特電)

○貿易は平和の基

……るは固より不可能なれば英國は唯に……獨逸が通商に依り英國內の原料を持……る事無かるべし殊に米國は交戰各國……內に於ける產業革新事業と共に戰後……多大の生……業に對し政府の適宜しきを得……協合には外國との間に誤解を生ずる……否、通商的關係は平和を撹亂す……るに至るや必せり試みに米國にして……島並に小亞細亞に於て彼し又は佛國……以て各自の利權を擁護し徒らに外國に干渉するの弊を避け政略的魂膽を棄てんか對外貿易は世界平和の最も……

……の議に依れば土地占領後各種の會社勃興し現に百萬圓以上のものは南洋興業(百三十萬圓)南洋貿易南洋興信……

……巧にて殊に唱歌は內地人を凌ぐものあり教育の普及と共に近頃著しく勤勉觀念を增し且つ漸次土人の……

開院廣告
內科小兒科
眼科
外科
產婦人科
其他一般診療に應す
藥價眞の實費
宅診往診絕對無料
診察晝夜
京城警務總監部通新道(中將邸前)
實費診療醫院本部 電話二五三二番
附屬 酸素療法 オキシヘーラー治療所
一月十四日京城日報朝刊一面熟覽あれ

會員募集 八ヶ月卒業
藥劑師 或は製藥家となり雄飛成功せんと欲せば速に入會せよ此際入會者には特典提供
藥劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業志望者は必ず藥劑師となれ 本會は通學の餘暇なき者に業務の傍其目的を遂げしむ
講師 藥劑師となる近道は本會講義錄 學說最新內容豐富なるが故に修得容易 有賀藥學士 神谷藥學士 小島藥學士 稻田藥學士 村山藥學士 大河藥學士 望月藥學士 外專門大家
會則申込次第進呈
東京藥學會 東京神田表猿樂町廿五

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 長三六四六番 二三九番 振替京城二一八六二番 二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

醫化學諸器械 藥種賣藥卸商
(K)
仁川本町 北島藥店 電話三三四番 振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

酒井婦人病院
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院隨意
電話二六〇八番

ヒゲタ醬油
銚子港 田中玄蕃釀造
代理店 櫻正宗發賣元
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番

通商上獨逸に對し敵對行爲を執る可きも根本的に獨逸の通商を撲滅すみ影響を及ぼし延いて外交上紛擾の因を來す可く又各國政府も默視す國と稱ふる所以なりと思惟し冷淡なる態度を持しつゝあり素より對外企きを得ば益々國交の親善をこそ生ずれ何等憂ふ可き事態を生ぜざる也貿易を行ひ依つて無限の利益を獲ん事を期せざる可らず尤も國際間の經可からず只和衷的に關稅を按排し互惡的措置を執り徒らに條約を重んじ

……司令官東弘海……他八名と共に……官は十四日……分歸省せり

……の教育は讀方、唱歌、體操等にて之れに農業をも加へ教科書は內地のものを用ゐ居れるが唱歌體操は極めて……居れり

……る事に定め部落長を……命名し力めて慈愛を以て……等に對するより深く其善政に從ひ……

温い牛乳 傷病兵に

露國貴婦人團の立派な心がけ

前後六年露國を中心に交戰諸國を旅行し最近露都より歸朝した外務省の宮川書記生は憐れなる露國の傷病兵の狀態に就て沁々と語る『現在露西亞の傷病兵救護は主として地方自治團體で引受け赤十字社は第二に位してゐる

▼醫師醫療品缺乏 に次いで糧食の不足してゐる事も事實であるが併し傷病兵の救護に對しては全力を傾けてゐるから縱し國民が一片の肉を口にせずとも傷病兵には温い牛乳を與へて出來る丈け看護の手を盡してゐる看護婦も大分ゐる樣であるが何分戰時の儀か仕込み看護婦で中には立派な貴族の夫人や令孃迄もゐる代りに又生活の代を得る爲めに志願して看護婦をやつてゐる者もある畏れ多いのは戰爭が始まつて以來

▼皇后陛下を始め 內親王殿下御三方とも赤十字の看護婦講習會にお入りになつて三箇月の間各階級の婦人達と一生懸命に看護學をお學びになり御卒業後は時々病院を見舞はせられて祖國の爲めに傷つける兵士等に温かい慰めの御言葉と共に親しく種々の御手當を賜はりつゝある日々其數を增してゐる傷病兵の窮狀は今更說く必要も無いが一體露西亞と云ふ國は平常から國民に對して平等の權利を與へず猶太人のごときは露都には

▼二十四時間以上 滯在することが出來ぬと云ふ風に純露西亞人で正教徒たる傷病兵に對しては非常に手篤いが個々猶太人種などの傷病兵が同じく戰線から衞生列車で護送されて來ても若し其が發見されると如何に死に瀕してゐる重傷者でも忽ち別に設けられた一定の收容所へ送り還さるゝと云ふ有樣で之には他國人なぞは常に眉を顰めてゐる、而して露國內地でも靜養地として

▼色々適當の土地 はあるが何しろ其數を測り知ることの出來ない多勢の傷病兵であるから到底完全に手當をすることは出來ない若し日本で此際之等傷病兵の一部でも引取つて世話をしてやる事が出來れば實に彼等の幸福此上もなく萬一種々の關係から之を實行すること能はずとしても此同情ある日本の誠意を聽かば必らず露國の國民は擧げて其友情に感泣するであらう（東京）

青島一望氷海

舊臘よりの冱寒は新春に入りても更に緩まず連日風力二十二米突と云ふ猛烈なる寒風に襲はれ既に二週間以上寒風凛烈紅塵の巷となり七日黃昏時は其頂點に達し氷點以下十五度四分と云ふ近年稀なる冱寒となり、水道鐵管破裂し食料品は凍化し市民は煖爐を圍みて室內に籠もり石炭の賣行例年に比し頗に增加して値上げの實行を見つゝあるも

▲每日五十噸 以上の賣揚げある由なり尙ほ屋外の寒氣は顏を向くべくもあらずして北支那の港灣中結氷を見ざるを誇りとせる當膠州灣も一望氷海と化し終り厚さは三尺にも達し爲めに出入船舶の困難名狀すべからず小型汽船は全く運航杜絕の姿にて既に入港せし船は大港內に蟄居し入港せんとする船舶は灣口に避難碇泊し何れも出入する事能はず空しく立往生の有樣にて已むなく港務部及び稅關は青島棧橋に各出張所を設けて便宜上事務を取扱ひ旅客の乘降貨物の積卸等一切海陸の連絡は皆島棧橋に移るに至りたり、然るに九日早朝內地より入港せし西京丸は水路を開くべく

▲極力碎氷しつゝ大港に進み青島棧橋より大港迄約三時間半を費して漸く目的を達し辛ふじて埠頭岸壁に橫付し得たるも碎破されし氷塊は須臾にして堅氷を結び躊躇すれば忽ち堅氷に鎖さるゝ憂ひあるを以て西京丸に跟隨し來りたる千七百噸の天潮丸は遂に大港に達し得ず空しく灣江に逆れ碇泊したる狀態にて小型汽船及び戎克等の出入は思ひも寄らず戎克等の港外に碇泊するもの既に五十餘隻に及び未曾有の大寒なるが實に十八年目の酷寒也と（青島）

鍾路署に 贓品の山

京城鍾路警察署管內各洞に亙り舊臘以來盜難被害頻發し同署にては極力犯人嚴探中の處此の犯人は淸溪洞居住の前科犯人高永健（三二）なる者と判明し一兩日前同人を引致したるが同人は三十數戶の鮮人宅より現金衣類雜品等價格約數百圓を盜みたるものにて押收したる贓品は同署內に山の如く積みあり目下引續き嚴重取調べ中なりと

爆發して死傷者を出す

十六日午前三時茂山第七隧道にて內地人工夫作業用の爆發藥携帶步行中突然爆發右の工夫は卽死し鮮人三名支那人二名重傷を負ひたり（茂山特電）

針金で錠前を

內地人宅を襲つた賊

京城長谷川町谷口方居黃海道鉢津郡馬山面馬山里生れの金泰根（二）は昨年十一月二十九日夜並木町錢高作太郎方の炊事場入口の錠前を針金を以て取り外して忍び入り洋服二著外五點（四十七圓）を竊取して入質し其の金にて遊興したるを手初めに其後同樣手段にて針金を以て戶を開けて左記內地人居宅にて竊盜を働きたるが遂に捕へられ京城地方法院にて懲役二年六箇月の處分となれり

▲十二月三日南大門通三丁目中山方時計一個外四點▲十二月五日櫻井町一丁目磯崎方懷中時計六圓▲十二月二十四日▲十月十六日本町二丁目原田方現金及び外四點

婦人病院の賊

京城東大門外婦人病院に忍び込み小切手用紙を竊取したる支那登州府黃縣生れ當時京城西小門町居住土木請負業慕文選（三）は本町警察署にて取調べの結果昨年十二月十日午前十時頃にも貞洞梨花學堂米人ゼシーマ一方氏宅に忍び込み同家の第一銀行小切手用紙中五五九八五號記載の一枚を竊取し額面九十圓として同氏の名義を冒用し裏面には長沙洞七五李允植と記入し第一銀行支店より金九十圓を騙取したる曲者なりと

圖々しき通譯

雇主より大金を騙る

濟州島東中面表善里生れの高慶元（二五）は同島濟州面三徒里小佐賀沃度株式會社濟州島出張所員伊藤與市の通譯として雇はれ中昨年十一月より沃度原料の搗布買收資金として仲買人に交付すべき金五千餘圓を依託せられ內五百餘圓を賭博其他に消費し十二月二十一日朝鮮右面高山里に於て同會社雇人尹性鎬より伊藤に渡すべき一千六百圓及び同日同面挾方里洪翊炫より同樣雇主に渡すべき金三百圓の交付を受けたるを悉く主人に引渡さず同日歸途濟州面龍潭里にて三名の强盜に逢ひ所持金を强奪せられたりと詐り都合三回に合計二千五百四十圓を橫領したるが內金一千九百七十五圓は發見押收され濟州島警察署に於て取調べの上光州地方法院檢事局へ送られたり

發狂人を斬る

京城鍾路五丁目李兩栄（二九）は實父李淡範（五〇）が十年前より精神病に罹り居るより看護中客臘十一日午前十時頃李兩栄が所用にて隣家に往きたる不在中李淡範は突然暴れ出し同構內居住の金展澤の妻廊姓女を洗濯棒にて亂打し居る處へ歸宅したる兩栄は實父を取鎭め居室に押込みて鎖めとしたるに激しく反抗して手に負へざるより展澤は庖丁を以て斬り廻したるに誤つて顏頂部に切付け治療八日を要する創傷を負はしめたるより展澤は此程京城地方法院にて罰金六十圓の處分となる

砲兵馬賊を働く

十五日午前八時頃長春北門外支那人錢舖久發號方へ二名の馬賊侵入したるより錢舖主人は傍らにありし斧を以て一名の馬賊の頭部を二三箇所毆り付けたるに馬賊は不意を打たれて大に狼狽し何れも逃走したり急報に接し北門外派出所詰役藤巡査は直ちに追跡し一名を捕縛したるが此馬賊は當地南嶺砲兵第一營第三聯の兵にして張明德と云ふ者なり錢舖には被害なかりしと（長春）

父の預金五百圓を

引出して朝鮮へ

兵庫縣揖保郡斑鳩村の內龍村長谷川久彌長男巖（二〇）は大阪藥學校に在學中なるが冬期休校の爲め鄉里に歸省中去る十三日午前十時頃父の銀行預金の內より五百圓を引出して逐電したるが同人は嘗て朝鮮に赴きたしと云ひ居たれば或は渡鮮したるやも知れずと實父より釜山警察署へ保護を願出でたりと（釜山）

新炭貯藏小舍燒く

十六日午後七時五十分頃高陽郡漢芝面漢江里十七統五戶朴澤亨方新炭貯藏小舍より出火したるより漢江派遣所員は里民を指揮して消防し納屋一棟及び新炭約六百圓入を燒失し午後九時十分鎭火せり損害約六百圓人畜に死傷なし出火の原因は取調中なるが煙草の吸殼より發火せしものゝ如しと

黒焦となつて慘死

江原道橫城郡晴日面兵三防里農李桂甫（四七）方より十二月二十五日午後八時頃出火し同家及び隣家李彰伯方の二戶三棟を全燒し同十一時半鎭火せり桂甫の妻鄭氏（三四）は夕餉の焚火中烈風の爲め煽られたる火が屋根裏に移りて大事に及びたるものにて鎭火後同女は黒焦の死體となり居るを發見したり同里は山間の四戶十一人居住の部落にして其後數日を經て所轄憲兵所にて探知したるものなりと

大した寒であるまい

四溫期に這入つて溫度は大分騰つて來たが十七日は朝の最低が零下六度一分で晝の最高は一度一分即ち華氏の三十四度に成つて居る十八日午後又は十九日午前には此の盛天が晴れて再び三寒期に入つて多少寒氣を感ずるであらうけれども兎に角大した事は無いと見て差閊へはない十七日の低氣壓と小低壓は遼東半島奉天南方に在る低氣壓の影響を崇つた爲であつた

狡猾な支那人

京城堅志洞支那人千尤潤（三二）は竹添町居住米人某より卓子六脚の製作方を請負ひ濟松洞李潤儀と共同して十二月中製作を終り其の代金四十八圓を領收したるも潤儀へは一文も渡さずとりし爲め同人より告訴せられ干尤潤は鍾路署に引致さる

近處へ盜みに

京畿道楊州郡州內面生れの李春儀（二）は昨年六月二十二日同面古邑里飲食店李明俊方にて大甕一個（四圓）を竊取して自宅に持ち歸りたるを手初めに外前後七回に亙り附近の朝鮮人方より眞鍮製火鉢、同食器、鐵大小數個、石油罐等を竊取し此程京城地方法院にて懲役六箇月の處分となる

春場所（十七日午後九時東京發特電）

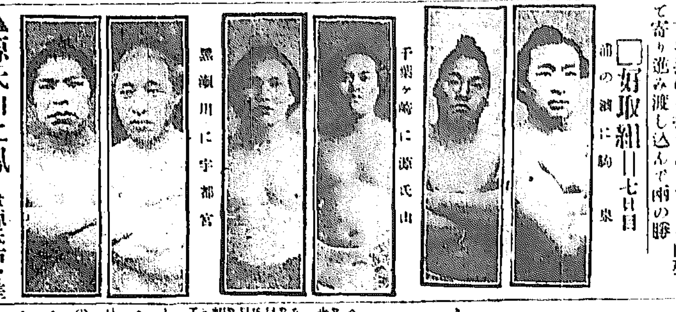
▼六日目

休場力士頻々 十七日の六日目は太刀山栃木山の好取組ありて人氣を唆りたるため相變らずの大入なりし當日の勝負及び七日目の取組左の如し

（勝　負）

成瀨川　八幡山　／　淸瀨川　花の山
大の高　紀の川　／　外ヶ濱　鎭西山
大潮　福柳　／　大岬　稻葉嶽
明　櫻　／　稻の花　荒玉
常の花　八甲山　／　大の里　鳴門洋
宮城山　休　大鳴門　／　石山　駒泉
大響　岩木山　／　敷島　小常陸
眞砂石　一港

梅川　黑瀨川
釋迦嶽　玉手山
宇都宮　休　千年川
大錦　伊勢濱
太刀山　栃木山
中入後
逆鉾　千葉ヶ崎
紅葉川　大門岩
紫ヶ浦　休　龍ヶ崎
土州山　休　紫雲龍
九州山　浦の濱
兩國　大戸平
鳳　源氏山



▲釋迦嶽に玉手山 は左四ッ互ひに右上手を引いて揉み合ふ內釋迦より進んで上手投を打ち玉手殘す際踏み切る

▲大錦に伊勢濱 はバッタリ左四ッに渡るか否や一氣に吊り出して錦の勝は當日の呼物なり

▲栃木山に太刀山 十分に仕切りて立ち上るや栃木の突かくるを太刀受けて左手に栃木の腮を攻めて押すを栃木堪へて右四ッとなり一氣に寄らんとしたるが左手に栃木の差手を捲き込み打棄りて太刀の勝は大喝采

▲中入後

▲逆鉾に千葉ヶ崎烈しく突き合ひ千葉叩きしが殘し右四ッとなりて千葉が寄り進み寄り倒し軍配は千葉に上りしも物言つきて預り▲大門岩に紅葉川は紅葉敵の喉ろに飛び込み双筈に構へて一氣に押切り紅葉の勝

▲九州山に浦の濱 は突合ひ浦の引き落さんとせしも利かず左四ッ浦合事に構へて持ち出さんとするを體を預けて寄り倒し九の勝

▲兩國に大戸平 は兩の左差を大戸右に卷いて小手投げを打ちしが利かず大戸二本差となりしが勝手惡しく左の差手を拔いて左四ッに渡り下手投けを打たんとするを兩殘して寄り進み渡し込んで兩の勝

▲源氏山に鳳 は源氏右を差して進二無二に寄るを鳳右手に源氏の首を卷いて危く土俵際に殘しつゝ奇麗に打棄つて鳳の勝にて打ち出したり

▲大鳴門休場 千年川は下痢、紫雲龍は何れも風邪の爲め六日目より休場し大鳴門は骨膜炎にて龍ケ崎と共に休場する事となれり

▼七日目の取組

（八甲山　鳴門洋）（常の花　大門岩）（十州山　玉手山）（琴ヶ浦　釋迦嶽）
敷島　岩木山　黑瀨川　宇都宮
大戸平　九州山（石山　鳳）（大錦　小常陸）
中入後
紅葉川　逆鉾　浦の濱　駒泉　千葉崎　源氏山
（大響　梅川）　眞砂石　兩國　伊勢濱　栃木山

▼國技館大相撲春場所成績表（表中○勝●負△預×分）（太刀山 宮城山）

東の方（六日目から一日目の順）

力士	六	五	四	三	二	一
鳳	○	○	○	○	○	○
伊勢濱	●	○	○	●	○	×
太刀山	○	○	○	○	○	○
朝潮	や	休	休	休	休	●
大戸平	●	○	●	●	●	○
玉手山	●	●	○	●	●	○
黑瀨川	●	●	○	●	○	○
眞砂石	○	●	○	●	○	●
大響	○	●	●	●	○	●
鶴渡り	や	休	休	休	休	●
石山	○	○	●	●	●	●
浦の濱	●	休	●	○	△	●
千年川	や	●	●	●	●	○
大鳴門	や	○	○	休	△	●
紅葉川	○	○	○	○	●	○
土州山	や	○	休	●	●	○
敷島	○	●	○	●	○	●
若島	や	や	休	●	●	△
柏戶	や	や	休	休	休	○
千葉崎	△	○	○	○	○	○
琴ヶ浦	や	●	●	●	●	●
鳴戶洋	●	●	○	●	○	●
八甲山	●	●	●		○	○

勝星五十二　負星五十六

西の方（六日目から一日目の順）

力士	六	五	四	三	二	一
對馬洋	や	や	休	休	●	●
西の海	や	や	●	○	●	○
大錦	○	○	○	○	○	○
栃木山	●	○	●	○	休	○
兩國	○	●	○	○	●	○
九州	○	○	●	○	○	○
宇都宮	や	●	●	●	△	●
小常陸	●	○	休	○	●	●
綾川	や	や	休	休	休	×
源氏山	●	○	●	○	休	●
君ヶ濱	や	や	休	○	○	●
岩木山	●	●	○	●	○	●
梅川	○	●	●	●	○	●
釋迦嶽	○	○	●	●	●	●
宮城山	や	○	○	○	●	○
逆鉾	△	●	○	○	○	○
近江龍	や	や	休	休	休	休
紫雲龍	や	●	●	●	○	○
一港	●	●	○	○	●	●
駒泉	●	○	○	●	○	
四海波	や	や	休	休	休	休
大門岩	●	●	●	○	△	休
龍ヶ崎	や	●	●	●	●	△

勝星五十一　負星四十九

◎書畫研究會新年宴會 長谷川町書畫研究會にては二十餘名は十八日午後五時より新年宴會を兼ね試筆會を催す由

えんげい

△壽座の勸進帳 中村新駒一座は頗る好評の唆りにてめきめき客足を增し連日大入好評を博し居れるが十八日より特に勸進帳として十番目海平市川團十郎より物語りまで中雙蝶々曲輪日記引窓の場、田舎源氏勸進帳にて大切の勸進帳には地の藝妓小六、お辰、玉喜久、春龍、初惠子の辰中連常盤津家の久子、花房、丸奴等の出演ある由

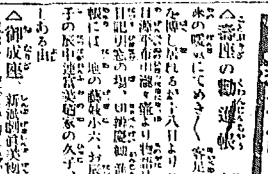
△御成座 新派劇實演一行にて十八日の替り狂言は一番目[illegible]のヤンチリ一分間一萬圓なり

△稻荷座 浪花節竹川馬生一座にて開演中

△黃金館 十九日より新寫眞と差替へたるが其の重なるものは左の如し △第一囑邦七八、九三輯六卷上場△新派活劇胸の火四卷△滑稽[illegible]△喜劇ボルエの爲△喜劇何とゲーム

▲浪花館 東京浪花節門助六一座にて開演中

さわうのさわう



▲此前松島艦の沈んだ時は瓜生提督の令息、大山元帥の令息など多數の有爲な將校を失したが今度の筑波では將校の死傷が少いだけが切めてもの慰めだとは海軍豫備軍醫小監和田ドクトルの話▲大橋憲兵司令部副官曰く僕の來た明治四十二年頃の火事には朝鮮人がバカチを持つて見物に來たものだ▲其所で貴樣達も働けと云ふと『五錢呉れゝば水を運ばふ』と云ふ有樣であつた▲夫れが今回鮮人側からも義勇消防組が出來たと云ふのは實に隔世の感有りだ』と

京城學校組合告示第壹號

京城學校組合區域內ニ住スル內地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正六年一月十日

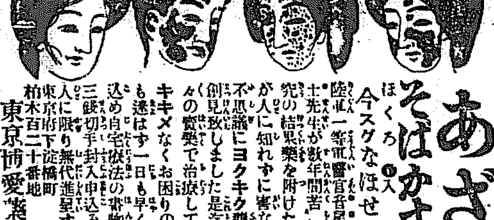
朝鮮總督府京城府尹　金谷充

京阪 劇界大好評の 新駒十八番の 勸進帳 此段當地藝妓出演 ▲田舎源氏 ▲雙蝶々曲輪日記 長中內小六、お辰、玉喜久、春龍、初惠子 ▲富美の家久子、花房、丸奴 一月十八日より 京城壽町 電話五七八番 壽座

巖松堂 新刊
書名	著者	定價
安心生活	推尾辨匡	一、二〇
大英國の表裏	早川德次	八〇
一兵卒の銃	田山花袋	一、〇〇
本朝名家詩文	岡田正之	一、五〇
クオレ物語	宇野浩二	一、〇〇
新井白石	上田萬年	一、二〇
大山元帥	西村文則	一、二〇
新書道の研究	上木村鵬石	八五
死者生者	白鳥作	九五
實用書翰文	書翰文研究	六〇
處世訓話餅	和田垣博士	三五
改正鑛業法令集	中村寛元	一、三〇
朝鮮六十全書	巖松堂	一、八〇
民事訴訟法判決例	同	三、〇〇
牛	岡本米藏	一、〇〇
朝鮮鑛業要覽	鑛業研究	一、二〇
最新文[illegible]提	巖松堂	四五
京城本町 電話二六六番 振替京城二四五四番

FAMILY HOTEL ファミリーホテル 市內四通八達の場所 土地高燥眺望絕佳 庭園廣く閑靜の地 佛蘭西料理調進 客室 食堂 完備 宴會は特に御便利に取計可申候 ミセス、ボーエル 京城南大門通 電話一二二八番

長壽靈品は ヨーグルト 荒井の牛乳 滋養、健康の母は 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇四番


◎全治して再び顏服山の如くまいります ◎各縣下より續狀續々着荒す あざ そばかす ほくろ 今スグなほせ 入墨 陸軍一等軍醫官香房博士先生が數年間苦心研究の結果藥を附けた處が人に知れずに害なく不思議にヨクキク藥を創見致しました是迄種々の賣藥で治療してもキキメなくお困りの方も遂はず一日も早く申込め自宅療法の書物を三錢切手封入申込みの人に限り無代進呈す 東京府下淀橋町柏木百二十番地 東京博愛藥院 ケツタク人

返信券添へ照會あれ詳細回答す 大阪道修町 ドラッグ商會 りん病 ばいどく 百円進呈 請合 特製藥 麻病藥主藥は治痲劑こし梅毒藥主藥は驅梅內服藥こし醫學上最有効と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て當揚配劑せられつゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓進呈 ◎あらゆる治療を講ずるも効なき患者兎に角一度相談あれ ◎にせ物に注意、商會の隆盛を羨み東京京城大連青島其他到る處に偽物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田 取次販賣の認可被下候 京城南大門外 ドラッグ商會 振替京城四六七番電話長三三五六番

再診療開始 昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ヶ月間再び診療を開始す 痔核。痔瘻。脫肛 直腸脫。痔出血。裂痔 京城長谷川町安東病院（電七三〇）內出張 肛門病注射專門 院長 久枝秀喜 最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

人蔘精 其土產品は他に無し 本町二丁目 大橋商店に限る

醫學博士 前田珍男子 御賞讚 贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り

鼠毛布 東洋毛布會社工場製品 貳枚續き壹枚 金貳圓八拾錢也 本品は露國軍隊の注文品にて廣告の爲め二千枚限り御需に應ずハガキにて御注文せば代金引換にて送附す 東京市神田區岩井河岸 東京織物同業販賣所 振替口座七三四六番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

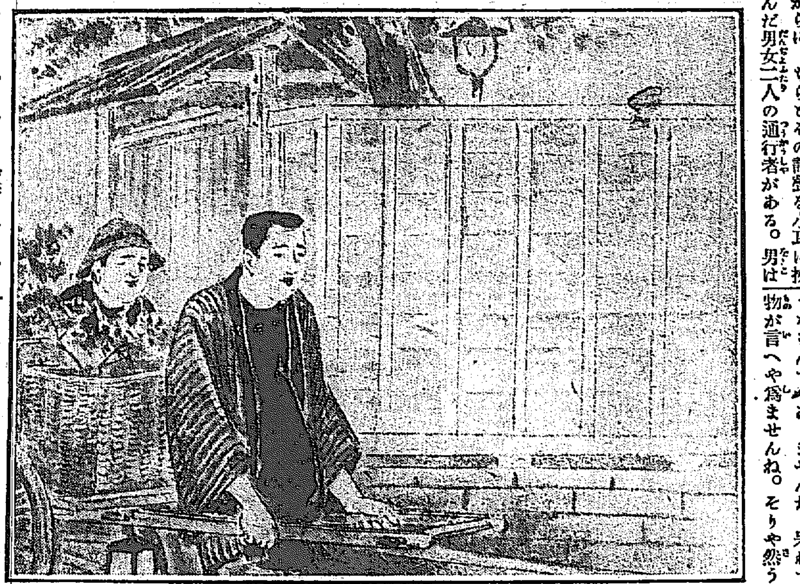
五十二

死神『十二』の二

夏は、水死が多くて、冬は、轢死が多くなるたア本統だね。然し此の頃のやうに轢死沙汰のつゞくのも珍らしいこツたよ」

「什うやら今三番町の木澤病院へ擔ぎ込んだのも、九分通りは冥土のものらしいぜ」

巣鴨か大塚の方面へでも歸るのであらう、縁日戻りの二三の植木屋が明け放しの聲でこんな事を語り合ひつゝ、精々と招魂社裏の坂路を降りゆく所であつた。それと行き違ひながらに、ちらとその話聲を小耳に挾んだ男女二人の通行者がある。男は紛れなき幸三郎や、女は、總十郎の後妻お久婆さんなのであつた。



『もし小母さん、氣懸りな事を聞くもんですね』

『ほんにね、幸さん、貴方も然う思ひましたか、妾も何だか今の植木屋どもの話が……』

『お宅へ行つても歸つては居られず、又僕の家へ引返して見ても、小父さんの姿が見えんので、小母さんと二人で斯うして彼方此方を探し廻はつて居る途中に、あんな事を耳に爲ると云ふのは、何だか氣持のわるい話ですね』

『幸さん、お氣の毒ですが、鳥渡その轢死人の容子を、彼の植木屋どもに訊ねて見て呉れませんか』

『然うですね、餘り氣懸りですから訊いて見ませう』

幸三郎は、植木屋の一人に聲を掛けて、それとはなしに容子を聞いたのである。と『何でも六十前後の老人で生命は先づ助かりさうにない』との事であつた。

『小母さん、お聞きの通りですよ。愈々險呑になつて來ましたぜ』

『まあ、什うしたら好いでせうね、幸さん』

『什うしたらツて、仕方がありませんから病院へ行つて見ませう』

『何ぼ氣が小いさいからと云つて、豈夫に死なゝくツたツて、好かりさうなもんぢやありませんか、呆れて物が言へや爲ませんね。そりや然うと、幸さん、貴方は身體のわるい所を飛んだお交際を爲して濟みませんでしたね』

『是で若し、病氣をぶり返すやうな事があれば、小母さんの許へ怨みを言ひに行きますからね』

『そりや酷いわ、幸さん、妾の加減よりか宅の人の罪ぢやありませんの』

『いゝえ、小母さんの罪です。小父さんがこんな事になつたのも、悉皆小母さんの罪です。小母さん、病院に擔ぎ込まれたと云ふ轢死人が果して小父さんであつたと爲たらば、貴女は手もなく、小父さんを責め殺したも同樣なんですよ。本來ならば、僕だつて小母さんと一緒に、小父さんの行先なんか探しに歩く義務も糸瓜もないんですけれども叔父さんの遺書を讀んだために、小父さんの心中が如何にも氣の毒で堪へられんくなりましたから、つい病軀を押して出て來る氣にもなつたんですがね、小母さん、貴女は、何と云ふ冷酷な根性を持つたお方でせうね』

病院の方へ向つて、歩きながらの途中でこそあるが、幸三郎は、感情の激するが儘に、動もすると、お久の語尻を押へて、蔘地に喰つて掛りたくなるのである。

お久は、それを又、風の柳に受け流して居ればまだしもであるが、元來が幸三郎づれを高の知れた青二才と見括つて居る上に、自身のわるい事は少しづゝでも、包み減さうと思つて居る矢先であるから、決して、幸三郎に遣り込められたなりでは居らない。

又しても幸三郎は、妾一人を仇敵のやうにお言ひだがね。第先にまだ病院に居る轢死人だつて、宅の人だか何だかも分りや爲ないぢやありませんか、それほど恩に被せて同道して下さるなら、來て下さらないでも好う御座いますよ』

『然うですか、それぢや御一緒に行くのは止めに爲ませう。左樣なら……失敬します』

所謂賣語に買語であつた。折角大橋圖書舘の前通りまで來た二人は、到頭大衝突の結果分れ〳〵になつて了つたのである。

強慾と邪惡とを兼ねたるお久も、此の場合萬更一人ぼつちに成たのでは、心細さの限りであるが、然りとては、他に求むべき方法もないので急ぎ足に木澤病院の玄關口へ駈け付け、受附に立つて容子を聞くと、年配から容貌、衣服の縞柄に至るまで、逐一我が良人の總十郎に相違ない事が分つた、で、容態はと問ひ返せば、只つた今……七分前に絶命したとの返答―流石慾傑のお久も、是を聞いた時ばかりは、自然に涙が眼から溢んだ。

内科◎外科◎其他一般
朝鮮 實費診療病院
黄金町二丁目(電話二八三七番)

歯科診療
往診(市内に限り往診無料)正午迄
自宅 正午より午後九時迄
京城南山町三丁目一番地
歯科醫 楢崎東陽
電話一三六〇番

◎臺灣に雪見列車

本月九日以來臺北の北方大屯山一帶の高峰には近年稀れなる大降雪あり山頂の白雪は皚々たる有樣は恰も富士の連山を此處に移したるが如き風情なりされば九日以來臺北附近の人々又は中學校生徒小公學校兒童等の雪見登山を試むるもの引も切らざる有樣にて鐵道部にては是が爲めに臺北、士林、北投間に雪見臨時列車を運轉したり(臺北)

◉九州の梅 寒氣にて遅る

九州各地を觀察したる人の語る所に依れば九州の梅の名所たる太宰府の梅は二月十日頃より蕾を破るべく太宰府の梅を移植したる大分吉野の臥龍梅も二月中旬より見頃とならん九州にて最も遅き梅の名所は久留米市附近宮の陣神社境内の征西將軍手植の將軍梅にて二月下旬より三月に入りて花を見るべし又一番の早咲は宮崎縣宮崎郡及び南那珂郡日向灘に近き黑潮の關係にて九州の一暖地たる爲めにや梅屋の梅花は一月上旬には滿開するが例なるに本年は三十年來の寒氣の爲め多少影響ありされど既に蕾を破り土筆、嫁菜の芽立居るは遉に暖國の春は他に見る可らざる趣あり

新刊紹介

▲黑潮(新年特別特大號)　斯の新機運「社論」新時代の潮流『大隈侯』對米政策偶感『新渡戸博士』混沌たる支那政局『寺尾博士』憲政と國民の政治思想『副島博士』少年犯罪は重大なる政治問題也『花井博士』政治道徳頽廢の誘因『澤柳博士』等を初め松岡康毅、元田肇、松田源治、武富時敏其他知名の士の政治に關する各種の論説及世界文明か國民文明か『川合貞一』歴史上より見たる支那國民性の一面『宇野哲人』獨帝背後の勢力家『鵜崎鷺城』等の外重て自然主義前派を論ず『生田長江』文藝批評に白鳥の第三者花袋のある宴會鏡子の農婦『尾野荒増雄』等の文藝に關するものあり創作は子の寶か理か小山内の黄昏の世界の五編を收む(一特價五十錢東京市麹町區内幸町一五太陽通信社)

▲副業之研究(新年號)　副業の御陰で、誰でも出來る手輕な副業、讀者が實驗せる廢物利用等の外男子にも貞操『島田三郎』生活的意識の微弱な現代の婦人『小西博士』副業奬勵と共貸『松崎博士』及其日〳〵の經濟、新智識投資者の心得べき兼頭税務に關する判決例等を收む(十五錢東京市本郷區駒込千駄木町四七共社)

▲心の花(新年號)　主として竹柏園一派の短歌集十數篇を收めむる外成待法師の入宋とその他『新村博士』大竺歌まくら『高楠博士』都朱歌壇の新傾向佐々木博士等見るべく猶石榑千亦前の竹柏園百人一首を附録す(特價卅錢東京市日本橋區本石町一の一竹柏園出版部)

▲日本の關門(新年號)　我貿易の前途『揖越澤市郎』經濟界警戒の機『尼田一』『增浦海戰』『高松博士』春風駘蕩たる長谷川新總督『初歳冠』朝鮮の金融と事業等の外引續き工業界に於ける防長、滿洲實業行腳旅程の中から不正銀行無盡會社の内幕其他を載せ小説には鐵花の趣の姿あり(價赤誌(十五錢下關市大字東南部一四七陣報社出版部)

▲蠶業新報(新年號)　種類の選擇に就て『外山博士』朝鮮將來の蠶種『宮原忠正』本邦古代蠶業『向井博士』吐絲の吹出する吸蟲中の被嚙に關する化學的研究『柴原賢』化學と蠶法の發明に就て『小松新博』等の外雜錄科學界雜香餘話問答文苑世說紹介等の各欄如例賑はし(十八錢東京市日本橋區箱崎町一四共社)

▲警務彙報(十一月號)　十五錢朝鮮總督府警務總監部

▲極東時報(一の六)　十八錢東京市京橋區築地明石町三二共社

▲長春貿易協會月報(五七)　定價不詳長春貿易協會

▲名古屋商業會議所月報(十二月號)　第二十三回全國商業會議所聯合會經過概要、第七回關西商業會議所聯合會經濟調査會、經濟統計其他(價不詳名古屋商業會議所)

▲角力世界(十二月號)　十五錢東京市京橋區築地二の二五共社

▲通俗教育會(十二月特別號)　五錢東京市麹町區飯田町五の二六共會

▲名古屋商業會議所月報(十一月號)　價不詳名古屋商業會議所

▲千代田(十二月號)　十五錢東京市淺草區高原町二一共社

▲安東商業會議所月報(十一月號)　定價不詳滿洲安東縣商業會議所

▲愛知縣商品陳列館報告(十二月號)　五錢名古屋市中區共部

商況

大阪三品特電

大阪期米(十七日)

四月限	一七二、五〇	一七一、八〇
五月限	一七一、二〇	一七一、二〇
六月限	一七〇、〇〇	一七〇、九〇

	高	安	正
寄付	一六三、八	一六三、三	一六三、三
値	一六四、九	一六四、五三	一六五、四八

▲保合閑散　天候雪模様大阪の變らざる入電に十三圓〇二……向氣乘りせず……居れるが……前……一錢安值の……

▲變動期如何　大阪の大變動を報じたるに反し當地は……らざるも……時ならんと語れり果して如何……

▲現物界　……

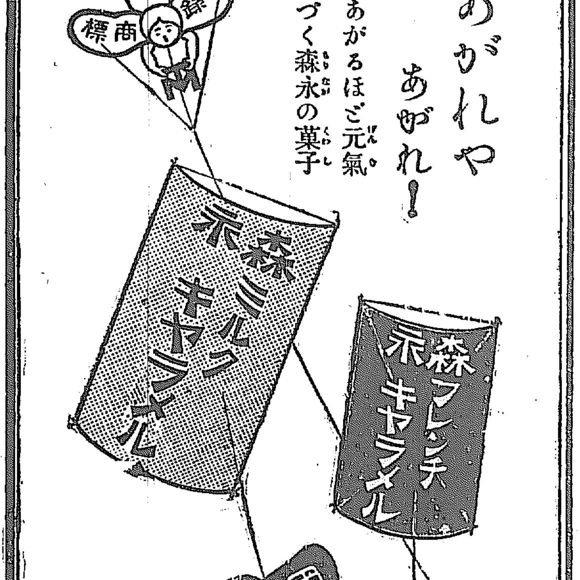
十七日の二月限

後場 寄付 正

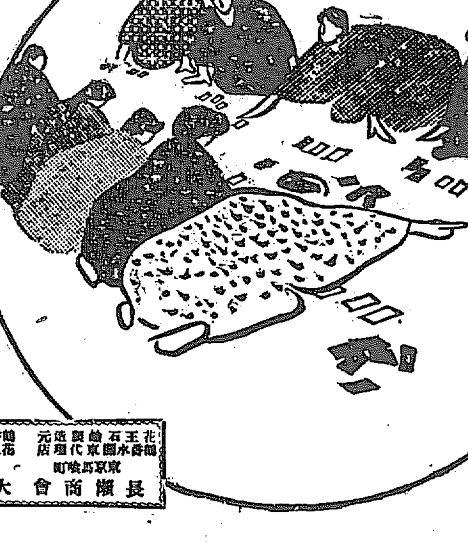
二月限　一萬石
三月限　七萬四千九百石
四月限　八萬三百石

大正四年十二月中當時咸北鏡城郡豐谷面豐川洞西風憲兵出張所勤務憲兵補助員崔洛順に轉任したるを奇貨とし……

消化と毒けし
仁丹
正月の廻禮・宴會・觀劇に仁丹離されぬ
金言
群犬は怪む所に吠ゆ(楚辭)


あがれや あがれ!
あがるほど元氣づく森永の菓子
商標登錄
森永ミルクキャラメル
森永フレンチキャラメル
國產煙草代用
當會社特殼の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田榮吉氏兩顧問の鑑定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
6―1
東京 森永製菓株式會社 大阪

初春のお嗜みには
お肌の色艶が美しくなるやう
お氣分が爽かに暢然するやう
お大丈でお風邪を召さぬやう
是非この一品の御愛用をお忘れ遊ばすな!
品質本位
花王石鹸!



花王石鹸 香水 歯磨 製造元 代理店
東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹸 日本歯磨 香水 輸入元 代理店
大阪安土町 大崎組商會

京城府告示第一號
京畿道高陽郡漢芝面新堂里所在京城府新堂里火葬場改築ニ付當分ノ間其ノ使用ヲ停止ス
大正六年一月九日
朝鮮總督府府尹 金谷充

阿波共同汽船仁川出帆
(芝罘、大連行)(關東都督府命令航路)
第十六共同丸　一月十九日入港　一月二十日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候 大連にて通し輸送取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 (登日町(電話二四四七番)) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八〇・二〇七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九三
京城取次店 京城南大門驛前 松原運送店(電話一七〇七)

船名	航路	日	發
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸	門司より釜山各港寄港雄基間航路	一月二十一日 一月二十三日	釜山發
○鶴城丸 ○咸平丸 ○鏡城丸	元山より各港經由行	一月 日	元山發
○昌平丸	東海岸各港經由	一月 日	元山發
○益德丸	甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行	一月 日	釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸	長生浦方魚津寄港	毎日	釜山 浦項發
○三浦丸	長承浦、巨濟、統營、三千浦各港	一月 日	釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶尚丸	各港經由麗水行	毎日	釜山發
○順天丸	各港經由麗水行麗水より釜山行に接續	三日目毎ニ	木浦發
○慶興丸	各港經由濟州島行西廻	一月 日	木浦發
○慶興丸	南多島海列島行(月三回)	一月 日	木浦發
○公州丸	各港經由濟州島行(東廻)	一月 日	木浦發
○丸	海州他各港經由鎭南浦行	一月 日	仁川發
○江原丸	芝罘、大連、青島行	一月十八日	仁川發
○麗水丸 ○晉州丸	各港經由木浦行	一月十八日	仁川發
○全州丸 ○錦江丸	江華島、喬桐島、海州行	毎日午前	仁川發

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
三河丸　一月十日正午出帆
淡路丸　一月廿一日正午出帆
砂丸　一月三十一日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部